

【琴浦町】令和2年度橋梁定期点検委託業務【実施一覧表】

橋梁名	道路種別	路線名	所在地	橋長(m)	架設年度	幅員(m)	標準幅員	供用年数	最新点検年次	R2	点検足場	交通規制	備考
向原橋	その他	向原線	大字湯坂字倉付河原	35.00	1969	3.6	4m程度	46	2016	定期点検	その他	通行止め(予定)	H30修繕済
稲荷橋_籠津	その他	鉄羽線	大字籠津字上山ノ前	24.30	1984	5	4m程度	31	2016	定期点検	橋梁点検車(110)	通行止め	
宮前橋	その他	負上線	大字光字宮ノ前	22.00	1988	4.4	4m程度	27	2016	定期点検	ハシゴ・脚立		
中谷橋	その他	中谷線	大字太一垣字橋詰	20.50		3.1	4m程度	不明	2016	定期点検	ハシゴ・脚立		
志古谷橋	その他	志子谷線	大字中村字垣ノ内河原	20.50	1971	4.4	4m程度	44	2016	定期点検	ハシゴ・脚立		
大門橋	その他	以西小学校線	大字山川字寺条	49	1962	7.2	8m程度	53	2016	定期点検	橋梁点検車(200)	片側交互	
大門橋(歩)	その他	以西小学校線	大字山川字寺条	44.60	1988	2.8	4m程度	27	2016	定期点検	ハシゴ・脚立		
岸ノ下橋	その他	岸ノ下線	大字山川字岸ノ下	21.00	1977	4	4m程度	38	2016	定期点検	橋梁点検車(110)	通行止め	
炭原橋	その他	精進川線	大字山川字炭原	21.60	1993	5	4m程度	22	2016	定期点検	橋梁点検車(110)	通行止め	
牧戸橋	その他	坂ノ上牧戸(1,2号)線	大字籠津字西牧戸	31.40	1994	4.7	4m程度	21	2016	定期点検	橋梁点検車(110)	通行止め	
山川木地橋	その他	山川木地部落線	大字山川字新田ヶ平	4.50		4.4	4m程度	不明	2016	定期点検	橋梁点検車(110)	通行止め	
安田橋	2級	梅田選果場線	大字赤碕字御崎河原	34.2	1979	7.7	8m程度	36	2016	定期点検	橋梁点検車(200)	片側交互	
稲荷橋_湯坂	2級	梅田選果場線	大字湯坂字西ノ河原	20.80	1966	4.7	4m程度	49	2016	定期点検	橋梁点検車(200)	通行止め	
稲荷橋_湯坂(歩)	2級	梅田選果場線	大字湯坂字西ノ河原	20.80	1983	1.7	4m程度	32	2016	定期点検	橋梁点検車(200)	通行止め	
精進川新道橋	その他	精進川新道線	大字山川字鳴子谷平	37.98	1993	5.2	4m程度	22	2016	定期点検	橋梁点検車(110)	通行止め	
ススケ畑2号橋	その他	ススケ畑支線	大字山川字精進川	24.46	1989	6.5	8m程度	26	2016	定期点検	橋梁点検車(110)	片側交互	

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元、総合点検結果

橋りょう番号	371810343103-	名称	向原橋	架設年(西暦)	S44 1969	橋長	35.0m	径間数	2	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.7	
名称	向原橋	架設年(西暦)	S44 1969	橋長	35.0m	径間数	2	桁種	鋼製桁	所在地	大字湯坂字倉付河原	路線名	向原線					
交差区分	3	勝田川	上部工型式	2径間単純非合成鋼桁橋			調書区分数			積雪寒冷地	—	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴					
橋りょう全幅員	3.60 m		下部工形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)			床版支間	2.00 m		凍結防止剤散布	—	H8 鋼橋の塗装					
自動車交通量	少ない 台/日			A2橋台	RC逆T式橋台(推定)			支承材	ゴム製		海岸からの距離	1.2km						
うち大型車交通量	台/日		橋脚	RC壁式橋脚			伸縮装置	不明		鋼橋塗装系	—							
緊急輸送道路	— 次		基礎形式	直接基礎(推定)			高欄種別	ガードレール		橋面防水処理	—		緯度	経度				
													35° 30' 37.0"	133° 37' 12.0"				

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)		健全性評価
					総合評価	健全性評価	
上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	iii	鉄筋露出 iii	鉄筋露出は局部的だが、鉄筋腐食が著しい。デッキプレートの腐食が見られる。これらは腐食対策を観点とした予防保全的な措置を講じることが望ましい。	II	
		②左側歩道下					
		③車道下	ii	鉄筋露出 ii			
		④右側歩道下					
		⑤右側端張出し	i				
	主桁(鋼製)	①左側端耳桁	iv	防食機能の劣化 iii、腐食 iv	防食機能の劣化機能は全体的で、特に端支点部で著しい腐食が見られ、ウェブに腐食穴が生じている。耐荷性能が低下しており非常に危険な状況であるため、緊急に措置を講ずるべきである。	IV	
②左側歩道下							
③車道下							
④右側歩道下							
⑤右側端耳桁		iv	防食機能の劣化 iii、腐食 iv				
横桁・縦桁等	⑥	iv	防食機能の劣化 iii、腐食 iv				
下部工	橋台	A1 [有筋]	iii	ひびわれ iii	パラペット上にひびわれが見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I	
		A2 [有筋]	i				
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難				
			P1		ひびわれ iii、欠損 ii		
			P2			ひびわれ、欠損(ジャンカ)が見られる。変状は局部的であり、現時点で構造的な問題は生じていないと考えられるため、経過観察が妥当である。	I
			P3				
P4							
P5							
P6							
支承部	支承本体(アンカーボルト)	iv	土砂詰り iii	土砂堆積が見られる。維持工事での対応が望ましい。	I		
	落橋防止装置(鋼製部) # (Co部)、変位制限装置等						
路上部	舗装	i		伸縮装置の漏水は桁端部、支承、下部工などの劣化要因となるため、予防保全的な措置を講じることが望ましい。排水管に腐食穴が見られるが局部的なため、腐食対策の観点から予防保全的な措置を講じることが望ましい。高欄の防食機能の劣化は全体的なため、腐食対策の観点から予防保全的な措置を講じることが望ましい。	II		
	伸縮装置	iii	路面の凹凸 iii、止水機能 iii、劣化 iii、漏水 iii				
	排水桝・排水管	iv	腐食 iv				
	点検施設						
	地覆	iii	ひびわれ iii				
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)	iii	ボルトのゆるみ ii、変形 ii、防食機能の劣化 iii					
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価						IV	

橋りょう番号・名称	ムカイバラハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.10.7
371810343103-	向原橋	S44(1969)	35.0m	2	鋼製桁	所在地	大字湯坂字倉付河原		向原線

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)

Non Scale



定期点検調書その2
 橋りょう一般図
 # 1/2

橋りょう番号・名称	ムカイバラハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.7
371810343103-	向原橋	S44(1969)	35.0m	2	鋼製桁	所在地	大字湯坂字倉付河原	向原線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の橋脚等がない場合は概略図でよい

2

定期点検調書その2
 橋りょう一般図

 2/2

Non Scale

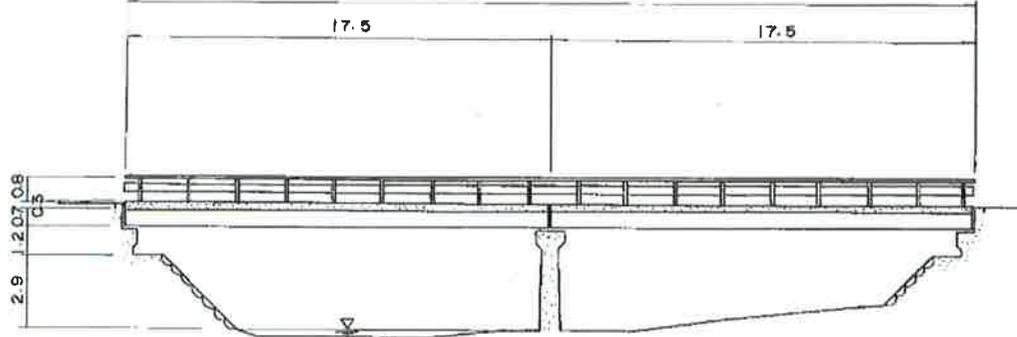
位置図

大字八幡

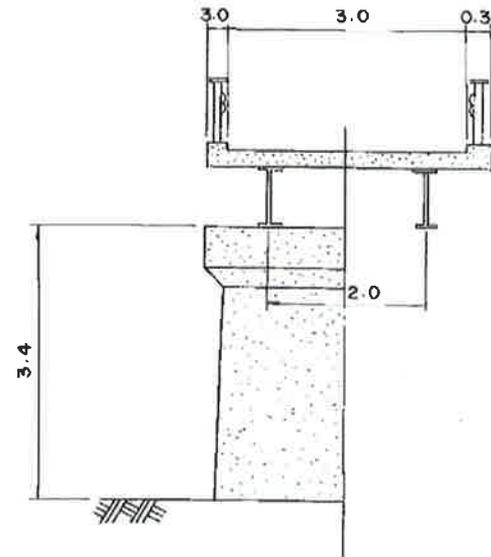


側面図

35.0



断面図



橋りょう番号・名称	ムカイバラハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.10.7
371810343103-	向原橋	S44(1969)	35.0m	2	鋼製桁	所在地	大字湯坂字倉付河原		向原線

定期点検調書その4
現地状況写真

1 起点側→終点側



1 終点側→起点側



3 上流→下流



3 下流→上流



1/4

橋りょう定期点検調書その 1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371810453104-	名称	稲荷橋_笹津	架設年(西暦)	S59 1984	橋長	24.3m	径間数	1	桁種	ホーストン桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株)	点検日	H28.11.30
名称	稲荷橋_笹津			S59 1984	24.3m	1	ホーストン桁	所在地	大字笹津字上山ノ前			路線名	鉄羽線				
交差区分	3	黒川	上部工型式	単純ポステンPCT桁橋				調査区分数		積雪寒冷地	-		備考(補修履歴等)	詳細調査履歴			
橋りょう全幅員	5.00 m		下部工形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)			床版支間	1.30 m		凍結防止剤散布	-					
自動車交通量	ほとんどない 台/日			A2橋台	RC逆T式橋台(推定)			支承材	ゴム製		海岸からの距離	1.0km					
うち大型車交通量	台/日		基礎形式	不明				伸縮装置	ゴム製		鋼橋塗装系	-		緯度		経度	
緊急輸送道路	- 次			不明				高欄種別	ガードレール		橋面防水処理	-		35° 30' 58.0"		133° 36' 44.0"	

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位		要素番号	変状度	劣化・損傷内容		総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)		健全性評価
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し		ii	鉄筋露出(金物) ii		被り不足による鉄筋露出(定着金物)が見られるが局所的なため、経過観察が妥当である。	
②左側歩道下									
③車道下				i					
④右側歩道下									
⑤右側端張出し				ii	鉄筋露出 ii				
主桁(コンクリート)		①左側端耳桁		i		被り不足による鉄筋露出が見られるが局所的なため、経過観察が妥当である。		I	
		②左側歩道下							
		③車道下		i					
		④右側歩道下							
		⑤右側端耳桁		ii	鉄筋露出 ii				
横桁・縦桁等		⑥		i					
下部工	橋台	A1 [有筋]		i	ひびわれ i		ひびわれが見られるが軽微なため、経過観察が妥当である。		I
		A2 [有筋]		i	ひびわれ i				
	基礎	橋台・橋脚とも			目視困難				
		橋脚(なし)	P1						
			P2						
			P3						
			P4						
P6									
支承部	支承本体(アンカーボルト)			iii	亀裂 iii、変形 ii		線状の亀裂、変形が見られる。機能に支障は生じていないと考えられるため、ゴム劣化対策などの予防保全的措置を講ずることが望ましい。		II
	落橋防止装置(鋼製部) // (Co部), 変位制限装置等								
路上部	舗装			iii	ひびわれ i、段差 iii		伸縮装置の漏水は桁端部、下部工の劣化要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。高欄で防食機能の劣化が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。		II
	伸縮装置			iii	段差 ii、漏水 iii				
	排水桝・排水管			i					
	点検施設								
	地覆			ii	ひびわれ i、鉄筋露出 ii				
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)			iii	腐食 ii、防食機能の劣化 iii、変形 ii					
コンクリート高欄(壁式)									
								橋りょうの健全性評価	II

橋りょう番号・名称	イナリハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株)	点検日	H28.11.30
371810453104-	稻荷橋_笹津	S59(1984)	24.3m	1	ホースT桁	所在地	大字笹津字上山ノ前	鉄羽線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)

Non Scale



定期点検調書その2 橋りょう一般図 # 1/2

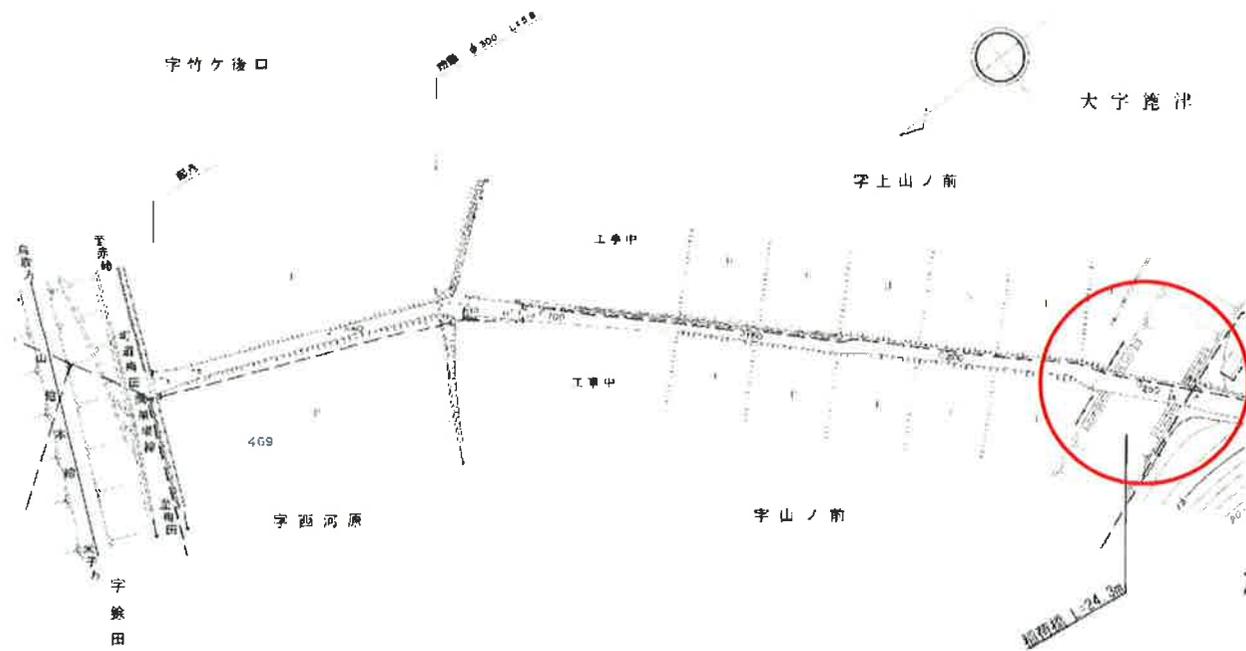
橋りょう番号・名称	イナリハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株)	点検日	H28.11.30
371810453104-	稲荷橋_籠津	S59(1984)	24.3m	1	ホースト桁	所在地	大字籠津字上山ノ前	鉄羽線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※図中の断面図がない場合は略図でよい

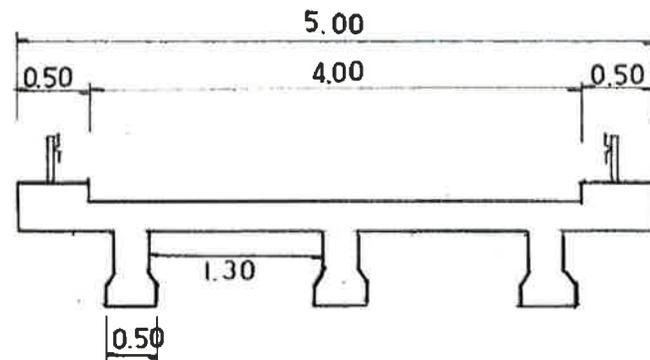
定期点検調書その2
 橋りょう一般図
 # 2/2

位置図

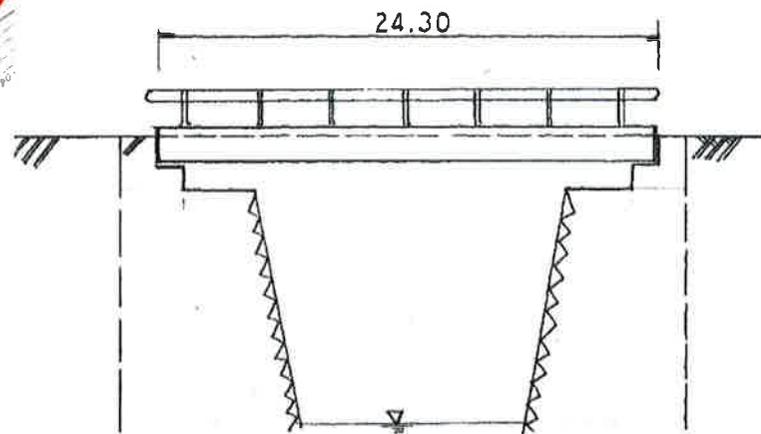


Non Scale

断面図



側面図



橋りょう番号・名称	イナリハシ	架設年(西暦) : 橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株)	■点検日 H28.11.30
371810453104-	稲荷橋_笹津	S59(1984) 24.3m 1 ホースT桁	所在地	大字笹津字上山ノ前	鉄羽線

定期点検調書その4
現地状況写真



1/3



橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371810533106-	名称	宮前橋	架設年(西暦)	S63 1988	橋長	22.0m	径間数	1	桁種	プレテン桁	事務所名	琴浦町	所在地	大字光字宮ノ前	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.26
交差区分名称	3	黒川	上部工型式	単純プレテンションT桁橋			調書区分数		積雪寒冷地	—	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴							
橋りょう全幅員	4.40 m		下部工 形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)			床版支間	0.90 m	凍結防止剤散布	—								
自動車交通量	ほとんどない 台/日			A2橋台	RC逆T式橋台(推定)			支承材	ゴム製	海岸からの距離	1.9km								
うち大型車交通量	台/日		橋脚				伸縮装置	ゴム製	鋼橋塗装系	—									
緊急輸送道路	— 次		基礎形式	不明			高欄種別	ガードレール	橋面防水処理	—	緯度	経度							
											35° 30' 13.0"	133° 37' 10.0"							

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)	健全性評価	
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	iii	うき iii	うき、鉄筋露出が見られる。変状は局部的なため、経過観察が妥当である。	I
②左側歩道下							
③車道下			i				
④右側歩道下							
⑤右側端張出し			ii	鉄筋露出 ii			
主桁		①左側端耳桁	ii	鉄筋露出 ii	鉄筋露出が見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I	
		②左側歩道下					
		③車道下	i				
		④右側歩道下					
		⑤右側端耳桁	ii	鉄筋露出 ii			
横桁・縦桁等	⑥	i					
下部工	橋台	A1 [有筋]	i		変状は見られない。	I	
		A2 [有筋]	i				
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難				
		橋脚 (なし)	P1				
			P2				
			P3				
P4							
支承部	支承本体(アンカーボルト)	iii	土砂堆積 iii	支承周りに土砂堆積が見られる。維持工事での対応が望ましい。	I		
	落橋防止装置(鋼製部) # (Co部), 変位制限装置等						
路上部	舗装	iii	路面の凸凹 iii、土砂堆積	伸縮装置の漏水は桁端部、下部工の劣化要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。高欄に防食機能の劣化、変形が見られるが、変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	II		
	伸縮装置	iii	ひびわれ iii、劣化 ii、漏水 iii				
	排水桝・排水管	i					
	点検施設						
	地覆	iii	ひびわれ iii、鉄筋露出 ii				
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)							
コンクリート高欄(壁式)	ii	防食機能の劣化 ii、変形 ii					
橋りょうの健全性評価						I	

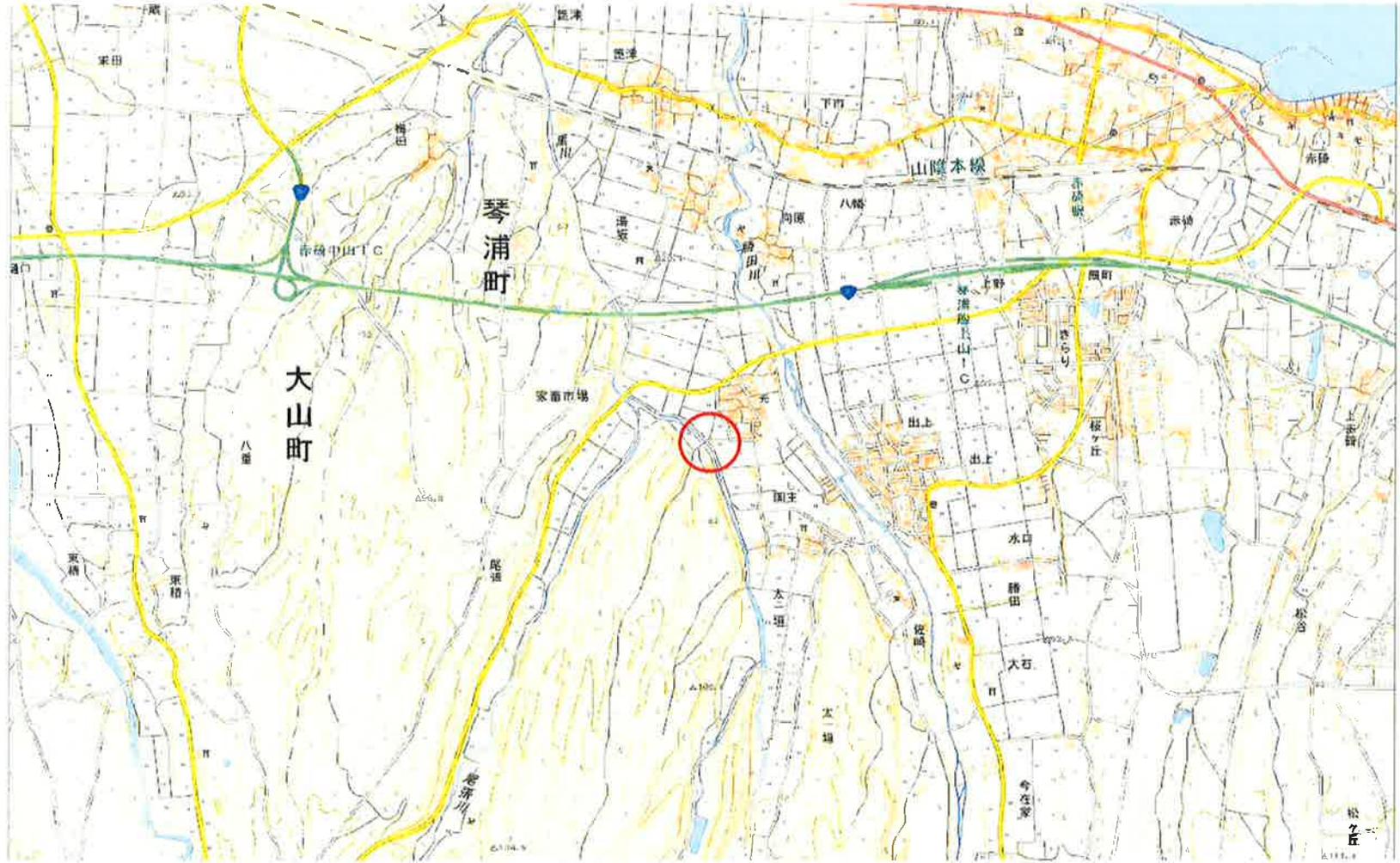
橋りょう番号・名称	ミヤマエハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.10.26
371810533106- 宮前橋		S63(1988)	22.0m	1	プレート桁	所在地	大字光字宮ノ前	負上線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間の長さが異なる場合は径間数を二つにする
 ※既存の断面図がない場合は概略図とする

位置図(広域)

Non Scale



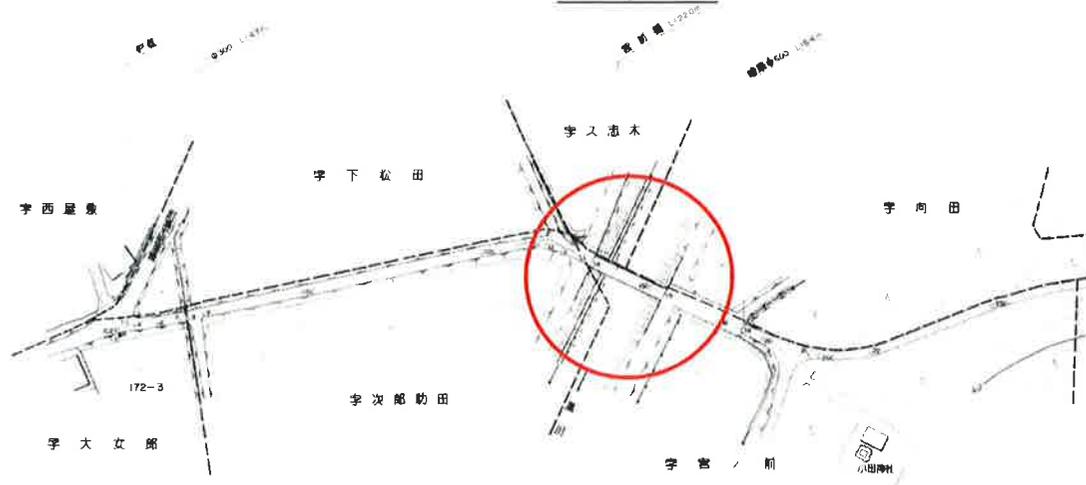
定期点検調査その2 橋りょう一般図 # 1/2

橋りょう番号・名称	ミヤマエハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.26
371810533106- 宮前橋		S63(1988)	22.0m	1	プレキャスト	所在地	大字光字宮ノ前	負上線	

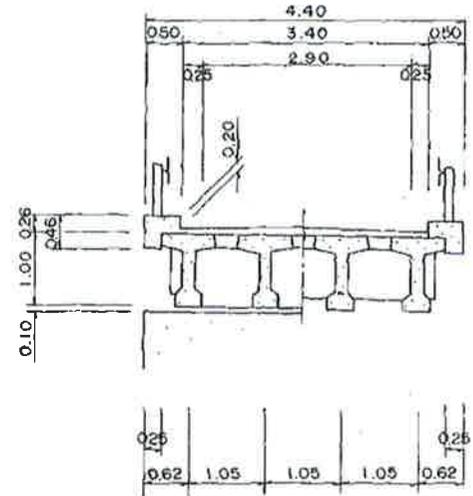
橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号を付けること
 ※橋の断面がない場合は概略図でよい

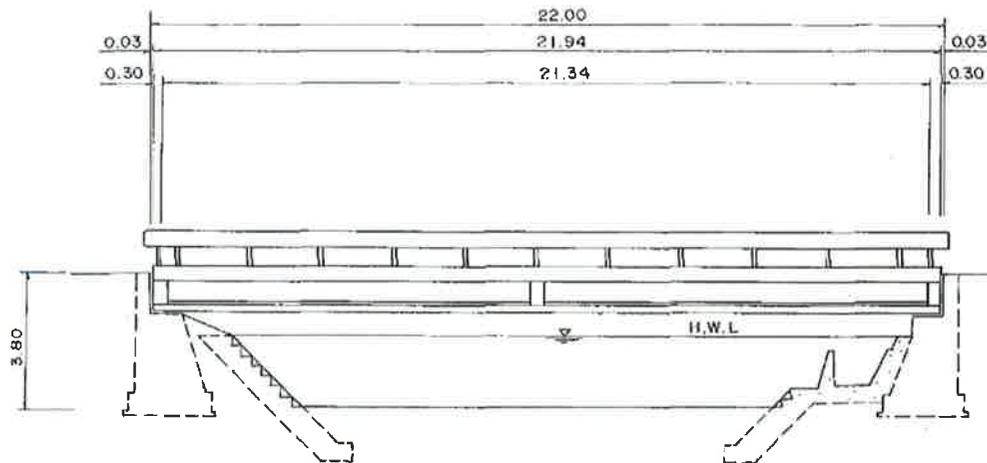
位置図



断面図



側面図



定期点検調書その2 橋りょう一般図

2/2

Non Scale

橋りょう番号・名称	ミヤマエハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.10.26
371810533106-	宮前橋	S63(1988)	22.0m	1	プレント桁	所在地	大字光字宮ノ前	負上線	

定期点検調書その4
現地状況写真

1/3

起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流



3 下流→上流



橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	ナカタニハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.26
371810723116-	名称 中谷橋	1900	20.5m	1	鋼製桁	所在地	大字太一垣字橋詰	路線名	中谷線		
交差区分名称	3 黒川	上部工型式	単純鋼H桁橋			調書区分数		積雪寒冷地	—	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴
橋りょう全幅員	3.10 m	下部工形式	A1橋台	RC反重力式橋台(推定)		床版支間	1.50 m	凍結防止剤散布	—		
自動車交通量	ほとんどない 台/日		A2橋台	RC反重力式橋台(推定)		支承材	鋼製	海岸からの距離	2.5km		
うち大型車交通量	台/日	橋脚			伸縮装置	不明	鋼橋塗装系	—			
緊急輸送道路	— 次	基礎形式	不明			高欄種別	鋼製	橋面防水処理	—	緯度	経度
										35° 29' 54.0"	133° 37' 17.0"

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位		要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)	健全性評価
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し				デッキプレートに腐食が見られるが、局所的なため、経過観察が妥当である。
②左側歩道下							
③車道下							
④右側歩道下							
⑤右側端張出し							
主桁(鋼製)		①左側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii、変形 ii		下フランジの変形が見られるが、局所的なため耐荷性能の低下は生じていないと考えられる。防食機能の劣化が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II
	②左側歩道下						
	③車道下						
	④右側歩道下						
	⑤右側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii、変形 ii				
横桁・縦桁等	⑥	iii	防食機能の劣化 iii				
下部工	橋台	A1 [有筋]	i		変状は見られない。	I	
		A2 [有筋]	i				
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難				
		P1					
		P2					
		P3					
		P4					
P5							
P6							
支承部	支承本体(アンカーボルト)	v	腐食 v		一部の支承で、腐食により支承機能(すべり機能)が損なわれている恐れがあるため、早期に措置を講ずるべきである。	III	
	落橋防止装置(鋼製部) # (Co部), 変位制限装置等						
路上部	舗装	i	骨材露出		伸縮装置の漏水は桁端部、支承、下部工などの劣化要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。 排水管に著しい腐食による部材脱落が見られるため、早期に措置を講ずるべきである。	III	
	伸縮装置	iii	漏水 iii				
	排水桝・排水管	v	欠損 ii、腐食 v				
	点検施設						
	地覆	ii	欠損 ii				
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)	ii	防食機能の劣化 ii					
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価							III

橋りょう番号・名称	ナカタニハシ	架設年(西暦)：橋長： 径間数 桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.10.26
371810723116-	中谷橋		所在地	大字太一垣字橋詰	中谷線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は脱略図でよい

位置図(広域)

Non Scale



定期点検調査その2 橋りょう一般図 # 1/2

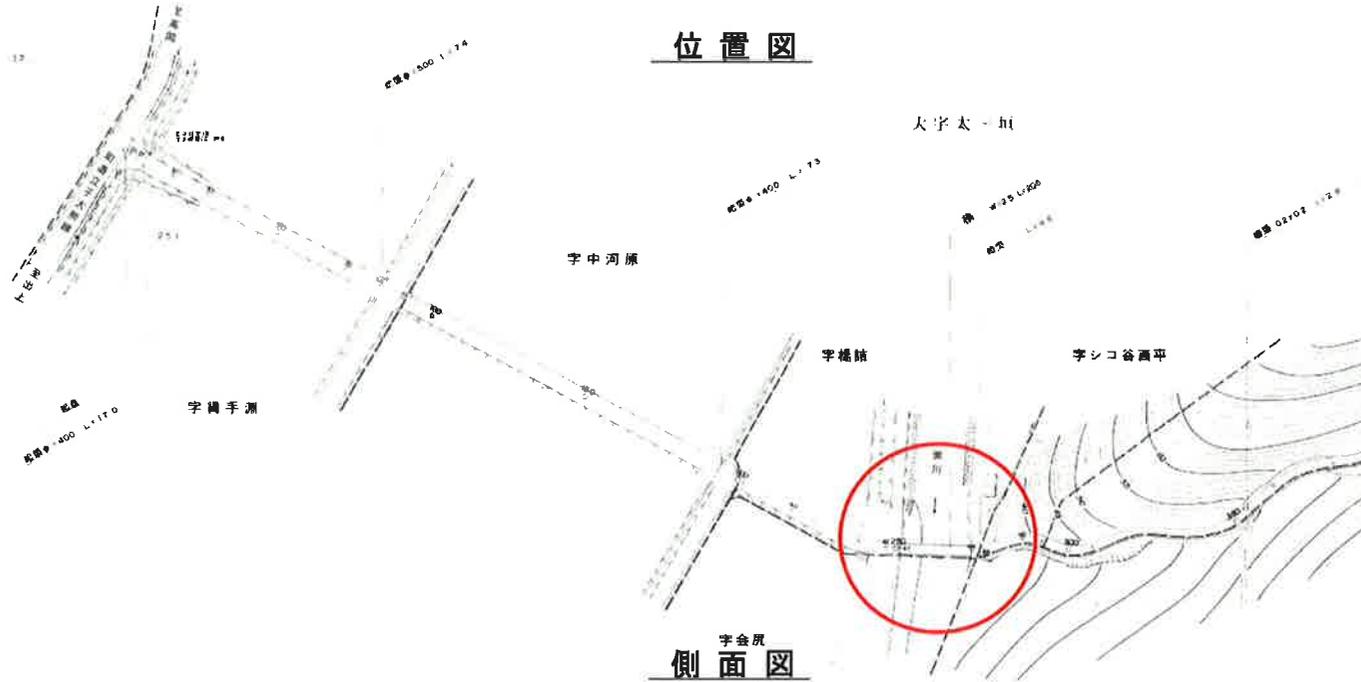
橋りょう番号・名称	ナカタニハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.26
371810723116-	中谷橋					所在地	大字太一垣字橋詰	中谷線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

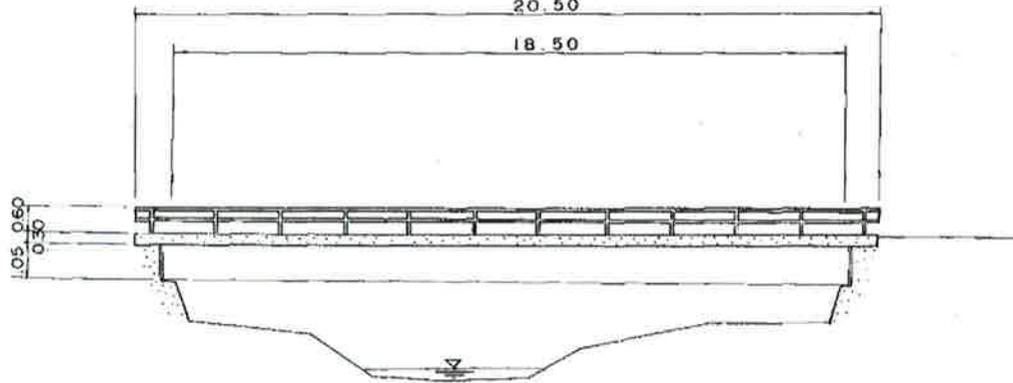
※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

Non Scale

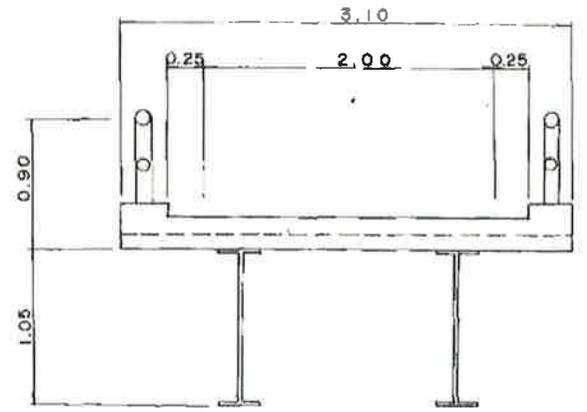
定期点検調査書の2 橋りょう一般図 # 2/2



字会原
側面図



断面図



橋りょう番号・名称	ナカタニハシ	架設年(西暦)・橋長・径間数・桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.10.26
371810723116-	中谷橋		所在地	大字太一垣字橋詰	中谷線	

定期点検調書その4 現地状況写真 # 1/3	起点側→終点側	1	終点側→起点側	2
				

	上流→下流	3	下流→上流	4
	<p>終点側 ← A2橋台</p>  <p>起点側 → A1橋台</p>		<p>起点側 ← A1橋台</p>  <p>終点側 → A2橋台</p>	

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371810733115-	名称	志古谷橋	架設年(西暦)	S46 1971	橋長	20.5m	径間数	1	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	所在地	大字中村字垣ノ内河原	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.26
交差区分	3	黒川	上部工型式	単純鋼合成H桁橋			調書区分		積雪寒冷地	—	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴							
橋りょう全幅員	4.40 m		下部工形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)			床版支間	2.20 m	凍結防止剤散布	—	H18.2 高欄、桁塗装							
自動車交通量	ほとんどない 台/日		A2橋台	RC逆T式橋台(推定)			支承材	鋼製	海岸からの距離	2.8km									
うち大型車交通量	台/日		橋脚				伸縮装置	鋼製	鋼橋塗装系	—									
緊急輸送道路	— 次		基礎形式	不明			高欄種別	ガードレール	橋面防水処理	—	緯度	経度							
										35° 29' 37.0"	133° 37' 20.0"								

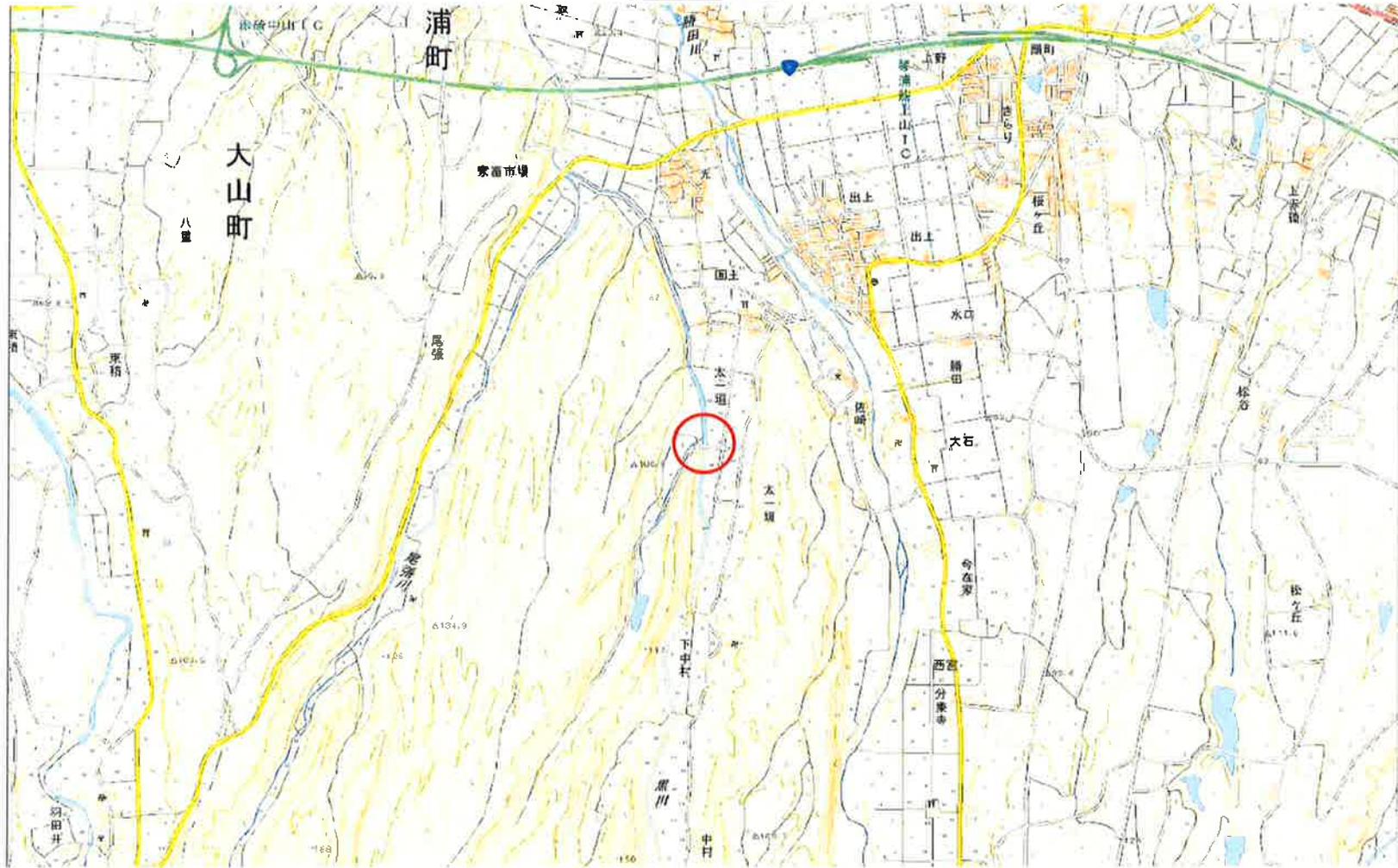
定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)		
					健全性評価		
上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	iii	ひびわれ i、うき iii	ひびわれ、鉄筋露出、遊離石灰、うきが見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I	
		②左側歩道下					
		③車道下	i				
		④右側歩道下					
		⑤右側端張出し	ii	鉄筋露出 ii、遊離石灰 ii			
	主桁(鋼製)	①左側端耳桁	iv	腐食 iv、防食機能の劣化 iii	防食機能の劣化が見られ、端支点部フランジで著しい腐食が生じているため、早期に措置を講ずるべきである。	III	
②左側歩道下							
③車道下							
④右側歩道下							
⑤右側端耳桁		iv	腐食 iv、防食機能の劣化 iii				
横桁・縦桁等	⑥	iii	防食機能の劣化 iii				
下部工	橋台	A1 [有筋]	i		変状は見られない。	I	
		A2 [有筋]	i				
	基礎	橋台・橋脚とも		目視困難			
		橋脚(なし)	P1				
			P2				
			P3				
			P4				
P5							
支承部	支承本体(アンカーボルト)		v	防食機能の劣化 v	腐食により支承機能(すべり機能)が損なわれている恐れがあるため、早期に措置を講ずるべきである。	III	
	落橋防止装置(鋼製部) // (Co部)、変位制限装置等						
路上部	舗装		i		伸縮装置の漏水は桁端部、支承、下部工などの劣化要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。地覆水切り部の広範囲に鉄筋露出が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
	伸縮装置		iii	漏水 iii、土砂詰り iii			
	排水桝・排水管		ii	防食機能の劣化 ii			
	点検施設						
	地覆		iii	ひびわれ iii、鉄筋露出 iii			
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)		ii	ボルトのゆるみ ii、変形 ii、防食機能の劣化 ii				
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価						III	

橋りょう番号・名称	シコタニハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.26
371810733115-	志古谷橋	S46(1971)	20.5m	1	鋼製桁	所在地	大字中村字垣ノ内河原	志子谷線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)



Non Scale



橋りょう番号・名称	シコタニハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.26
371810733115-	志古谷橋	S46(1971)	20.5m	1	鋼製桁	所在地	大字中村字垣ノ内河原	志子谷線	

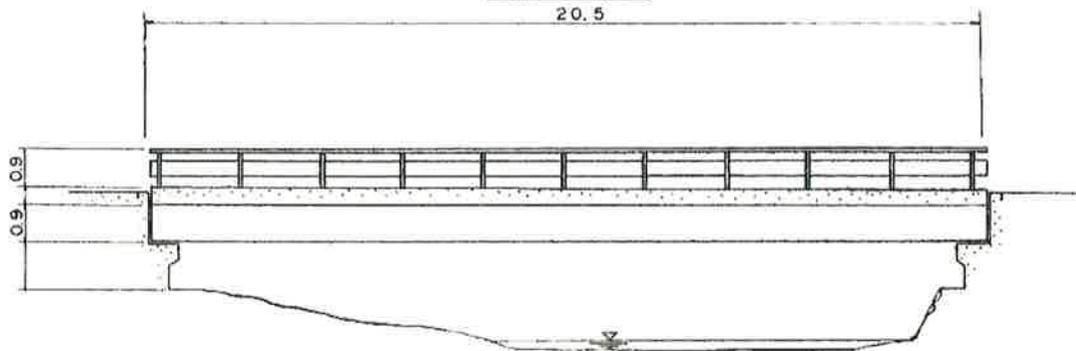
橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

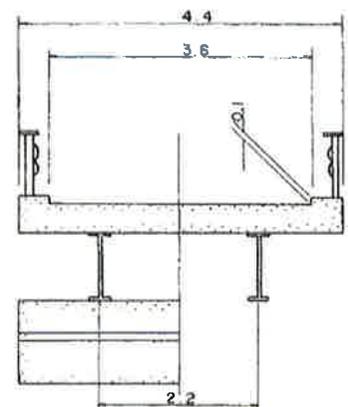
Non Scale



側面図



断面図



定期点検調査その2 橋りょう一般図 # 2/2

橋りょう番号・名称	シコタニハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.10.26
371810733115-	志古谷橋	S46(1971)	20.5m	1	鋼製桁	所在地	大字中村字垣ノ内河原	志子谷線	

定期点検調査その4
現地状況写真

1/4

起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流



3 下流→上流



起点側
→
A1橋台

起点側
←
A1橋台

終点側
→
A2橋台

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371810893123-	架設年(西暦)	S37 1962	橋長	49.0m	径間数	2	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.4
名称	大門橋	所在地	大字山川字寺条	路線名	以西小学校線										
交差区分	3	矢筈川	上部工型式	2径間単純I桁橋				調書区分		積雪寒冷地	-		備考(補修履歴等)		詳細調査履歴
橋りょう全幅員	7.20 m		下部工形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)		床版支間	2.40 m	凍結防止剤散布	-		H9.12 桁塗装			
自動車交通量	少ない 台/日			A2橋台	RC逆T式橋台(推定)		支承材	鋼製	海岸からの距離	6.5km					
うち大型車交通量	台/日		橋脚	RC壁式橋脚		伸縮装置	鋼製	鋼橋塗装系	A-1, B-1						
緊急輸送道路	- 次		基礎形式	不明		高欄種別	鋼製	橋面防水処理	-		緯度		経度		
											35° 27' 27.0"		133° 37' 45.0"		

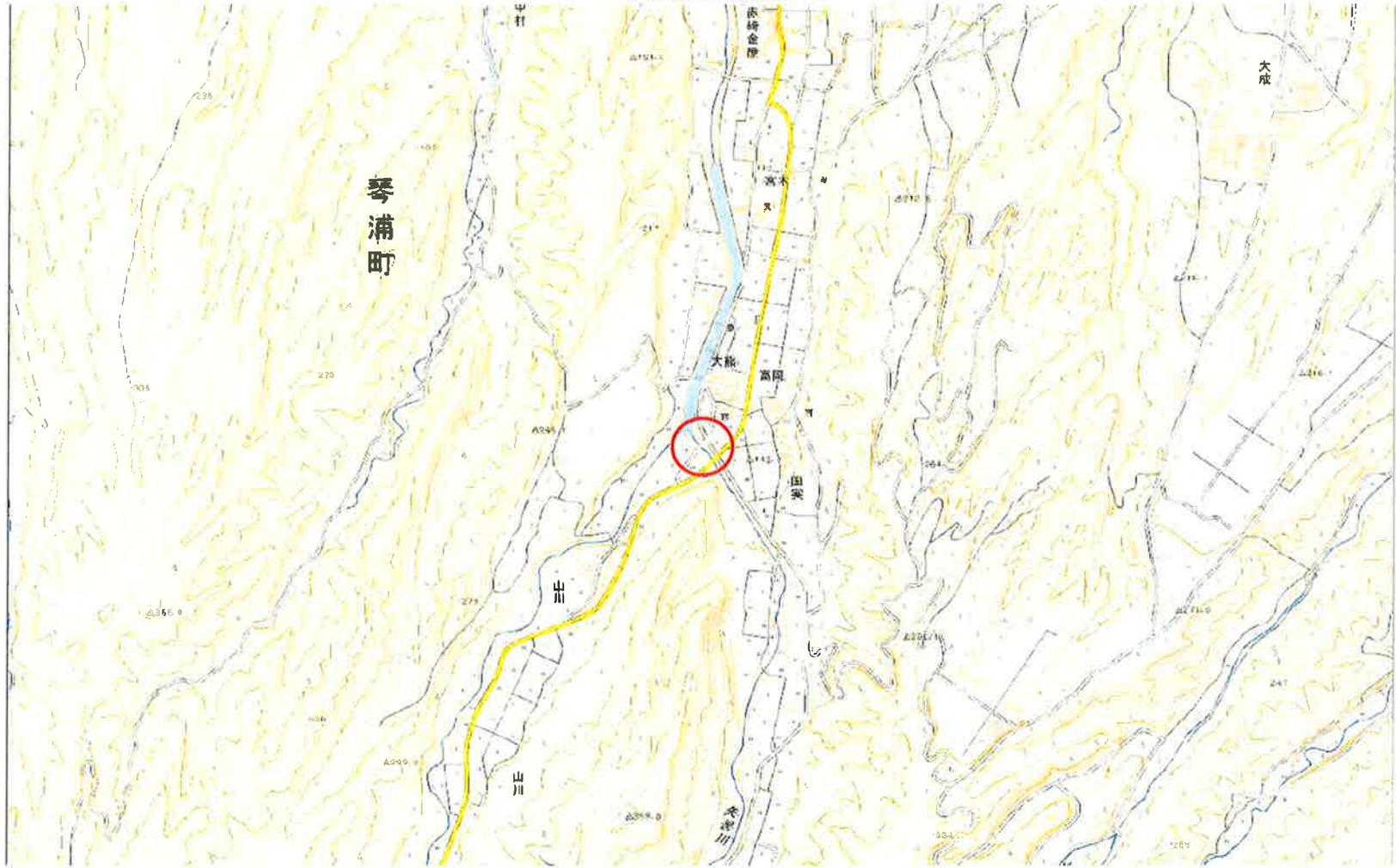
定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)		健全性評価
					総合評価	健全性評価	
上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	i	ひびわれ i	橋軸直角方向のひびわれ、遊離石灰が見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I	
		②左側歩道下					
		③車道下	i	ひびわれ i			
		④右側歩道下					
		⑤右側端張出し	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii			
	主桁 (鋼製)	①左側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii	防食機能の劣化が見られ、特に下フランジの劣化が著しい。腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
②左側歩道下							
③車道下		ii	防食機能の劣化 ii				
④右側歩道下							
⑤右側端耳桁		iii	防食機能の劣化 iii				
横桁・縦桁等	⑥	ii	防食機能の劣化 ii				
下部工	橋台	A1 [有筋]	ii	ひびわれ i、鉄筋露出 ii、遊離石灰 ii	A1橋台に見られる変状は軽微なため、経過観察が妥当である。A2橋台は、河川用地不法占拠のため確認困難である。	I	
		A2 [有筋]	目視困難				
	基礎	橋台・橋脚とも		目視困難			
			P1	i	ひびわれ i	ひびわれが見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I
			P2				
			P3				
P4							
P5							
支承部	支承本体(アンカーボルト)		iii	防食機能の劣化 iii	一部の支承で著しい塗装劣化が見られるが機能に支障は生じていないため、現時点では経過観察が妥当である。	I	
	落橋防止装置(鋼製部) // (Co部)、変位制限装置等						
路上部	舗装		i	骨材露出、滞水	排水管の吐口に欠損が見られるが、排水機能に支障は生じていないため、経過観察が妥当である。	I	
	伸縮装置		i				
	排水樹・排水管		iii	欠損 iii、土砂詰り iii			
	点検施設						
	地覆		ii	ひびわれ ii			
	鋼製高欄・防護柵(ガードレール)		ii	防食機能の劣化 ii			
	コンクリート高欄(壁式)						
橋りょうの健全性評価						II	

橋りょう番号・名称	ダイモンハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.4
371810893123-	大門橋	S37(1962)	49.0m	2	鋼製桁	所在地	大字山川字寺条	以西小学校線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)



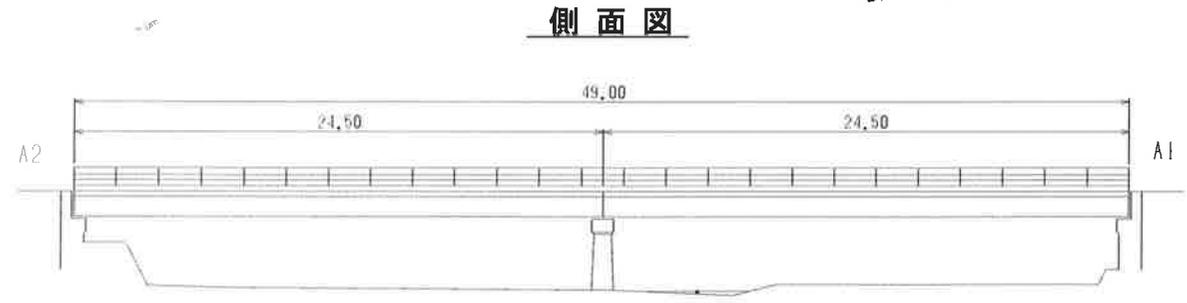
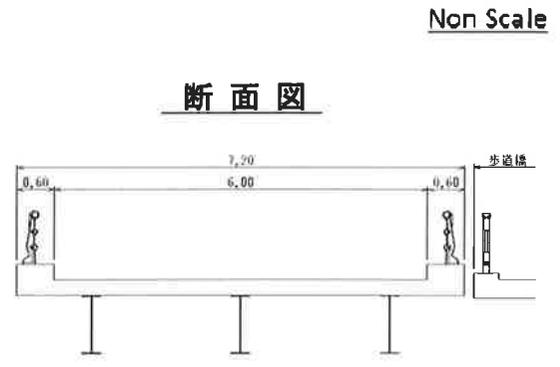
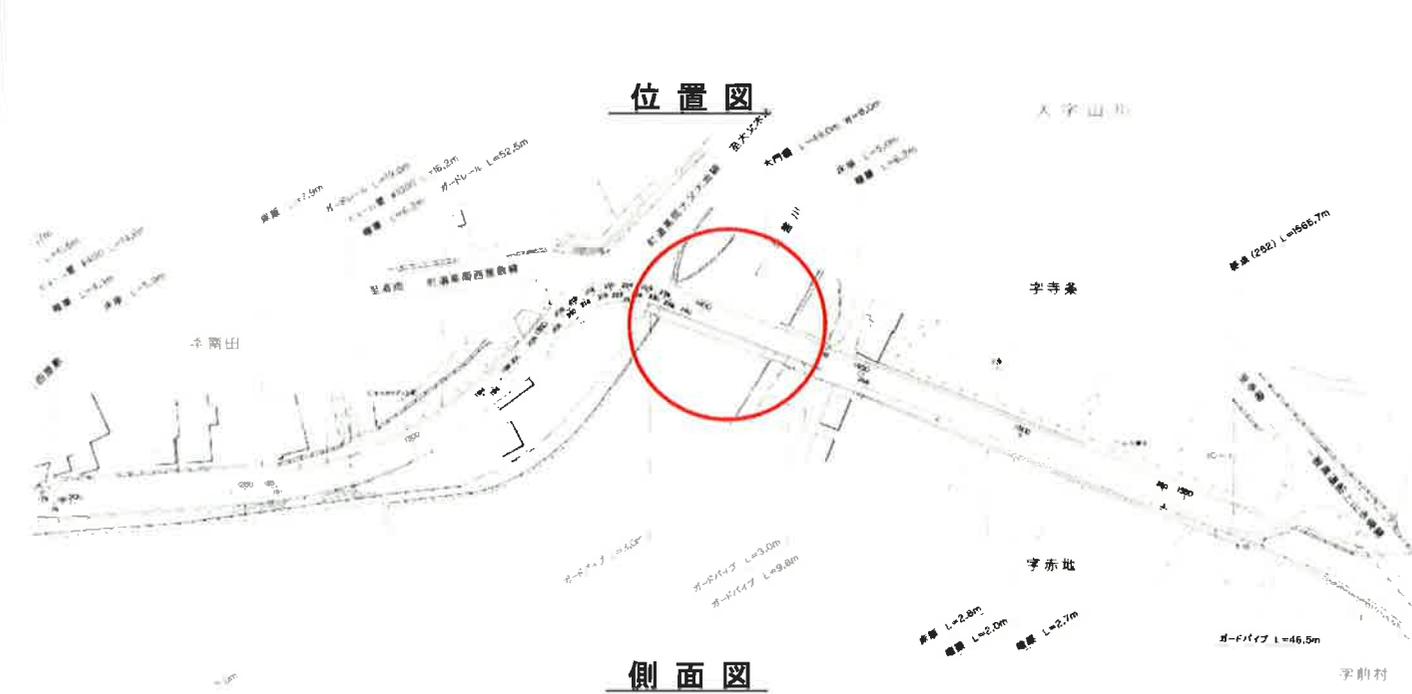
Non Scale

橋りょう番号・名称	ダイモンハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.4
371810893123-	大門橋	S37(1962)	49.0m	2	鋼製桁	所在地	大字山川字寺条	以西小学校線	

定期点検調書その2 橋りょう一般図 # 2/2

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい



橋りょう番号・名称	ダイモンハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.4
371810893123-	大門橋	S37(1962)	49.0m	2	鋼製桁	所在地	大字山川字寺条	以西小学校線	

定期点検調書その4
現地状況写真

1/4

起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流



終点側
←
A2橋台

起点側
→
A1橋台

3 下流→上流



起点側

←
A1橋台

終点側
→
A2橋台

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371810893123F	名称	大門橋(歩)	架設年(西暦)	S63 1988	橋長	44.6m	径間数	2	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	所在地	大字山川字寺条	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.10.27
交差区分 名称	3 矢筈川	上部工型式	2径間単純H桁橋			調書区分数		積雪寒冷地	-		備考(補修履歴等)	詳細調査履歴							
橋りょう全幅員	2.80 m		下部工 形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)		床版支間	1.40 m		凍結防止剤散布	-								
自動車交通量	台/日			A2橋台	RC逆T式橋台(推定)		支承材	鋼製		海岸からの距離	6.5km								
うち大型車交通量	台/日		橋脚	RC張出式橋脚		伸縮装置	ゴム製		鋼橋塗装系	A-1, B-1		緯度	経度						
緊急輸送道路	- 次		基礎形式	不明		高欄種別	鋼製		橋面防水処理	-		35° 27' 27.0"	133° 37' 45.0"						

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)	健全性評価
上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	i	ひびわれ i	橋軸直方向のひびわれ、遊離石灰が見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I
		②左側歩道下				
		③車道下	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii		
		④右側歩道下				
		⑤右側端張出し	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii		
	主桁	①左側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii	防食機能の劣化が見られ、端部上フランジに局所的な著しい劣化を生じている。腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II
②左側歩道下						
③車道下						
下部工	橋台	A1 [有筋]	i	ひびわれ i	ひびわれが見られるが局所的なため、経過観察が妥当である。	I
		A2 [有筋]	i			
	橋脚 (1基)	橋台・橋脚とも	目視困難			
		P1	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii	ひびわれ、遊離石灰が見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I
		P2				
		P3				
P4						
支承部	支承本体(アンカーボルト)		iv	腐食 iv、防食機能の劣化 iii	全体的に支承は健全だが、一部の支承で下沓に著しい腐食が生じているため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II
	落橋防止装置(鋼製部) // (Co部), 変位制限装置等					
路上部	舗装		i	土砂堆積	地覆のひびわれは局所的なため、経過観察が妥当である。高欄に防食機能の劣化は軽微なため、経過観察が妥当である。	I
	伸縮装置		iii	土砂詰り iii		
	排水桝・排水管		ii	防食機能の劣化 ii		
	点検施設					
	地覆		iii	ひびわれ iii		
	鋼製高欄・防護柵(ガードレール)		ii	防食機能の劣化 ii		
	コンクリート高欄(壁式)					
橋りょうの健全性評価						II

橋りょう番号・名称	ダイモンハシ(木)	架設年(西暦) : 橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日 H28.10.27
371810893123F	大門橋(歩)	S63(1988) 44.6m 2 鋼製桁	所在地	大字山川字寺条	以西小学校線

定期点検調書その4 現地状況写真

1/4

起点側→終点側



終点側→起点側



上流→下流



下流→上流



橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371810953127-	名称	岸ノ下橋	架設年(西暦)	S52 1977	橋長	21.0m	径間数	1	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	所在地	大字山川字岸ノ下	点検者	西谷技術コンサルタント 榎 齋藤	点検日	H28.11.25
交差区分	3	名称	勝田川	上部工型式	単純鋼合成H桁橋			調書区分		積雪寒冷地	—	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴						
橋りょう全幅員	4.00 m			下部工形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)			床版支間	1.95 m	凍結防止剤散布	—							
自動車交通量	ほとんどない 台/日				A2橋台	RC逆T式橋台(推定)			支承材	鋼製	海岸からの距離	8.3km							
うち大型車交通量	台/日			橋脚				伸縮装置	鋼製	鋼橋塗装系	—								
緊急輸送道路	— 次			基礎形式	不明			高欄種別	ガードレール	橋面防水処理	—	緯度	35° 26' 35.0"	経度	133° 37' 03.0"				

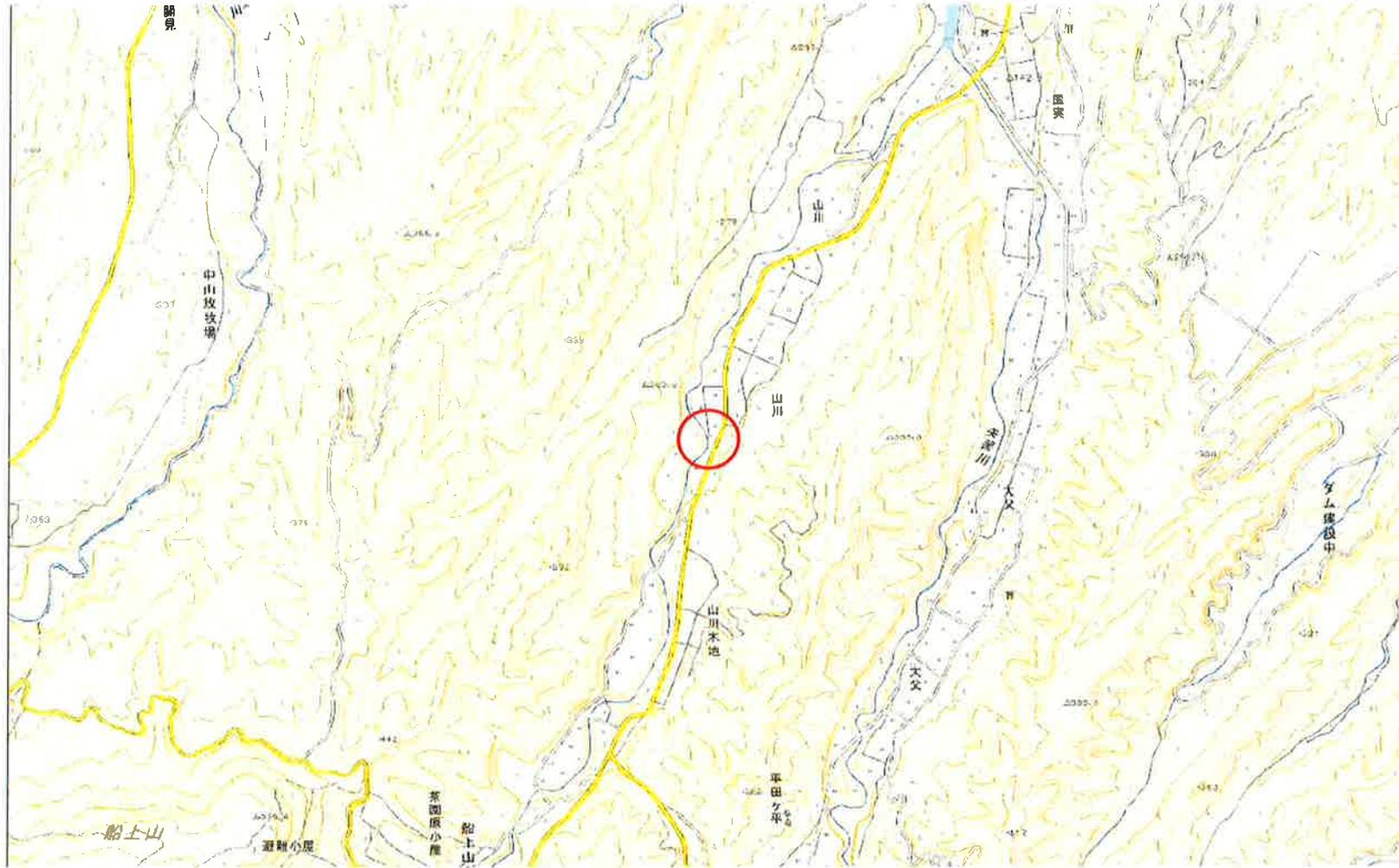
定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)	健全性評価	
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii	ひびわれ、遊離石灰が見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I
②左側歩道下							
③車道下			i	ひびわれ i			
④右側歩道下							
⑤右側端張出し			ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii			
主桁(鋼製)		①左側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii	防食機能の劣化が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
	②左側歩道下						
	③車道下						
横桁・縦桁等	④右側歩道下						
	⑤右側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii				
	⑥	iii	防食機能の劣化 iii				
下部工	橋台	A1 [有筋]	i		変状は見られない。	I	
		A2 [有筋]	i				
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難				
		橋脚(なし)	P1				
			P2				
			P3				
			P4				
P5							
支承部	支承本体(アンカーボルト)	iii	腐食 iii	表面的な腐食が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II		
	落橋防止装置(鋼製部) # (Co部)、変位制限装置等						
路上部	舗装	i	土砂堆積	伸縮装置の漏水は桁端部、支承の腐食要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。高欄の防食機能の劣化は、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II		
	伸縮装置	iii	土砂詰り iii、漏水 iii				
	排水樹・排水管	iii	土砂詰り iii、腐食 ii				
	点検施設						
	地覆	ii	ひびわれ				
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)	iii	変形 ii、防食機能の劣化 iii					
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価						II	

橋りょう番号・名称	キシノシタバシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.11.25
371810953127-	岸ノ下橋	S52(1977)	21.0m	1	鋼製桁	所在地	大字山川字岸ノ下		岸ノ下線

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)



Non Scale



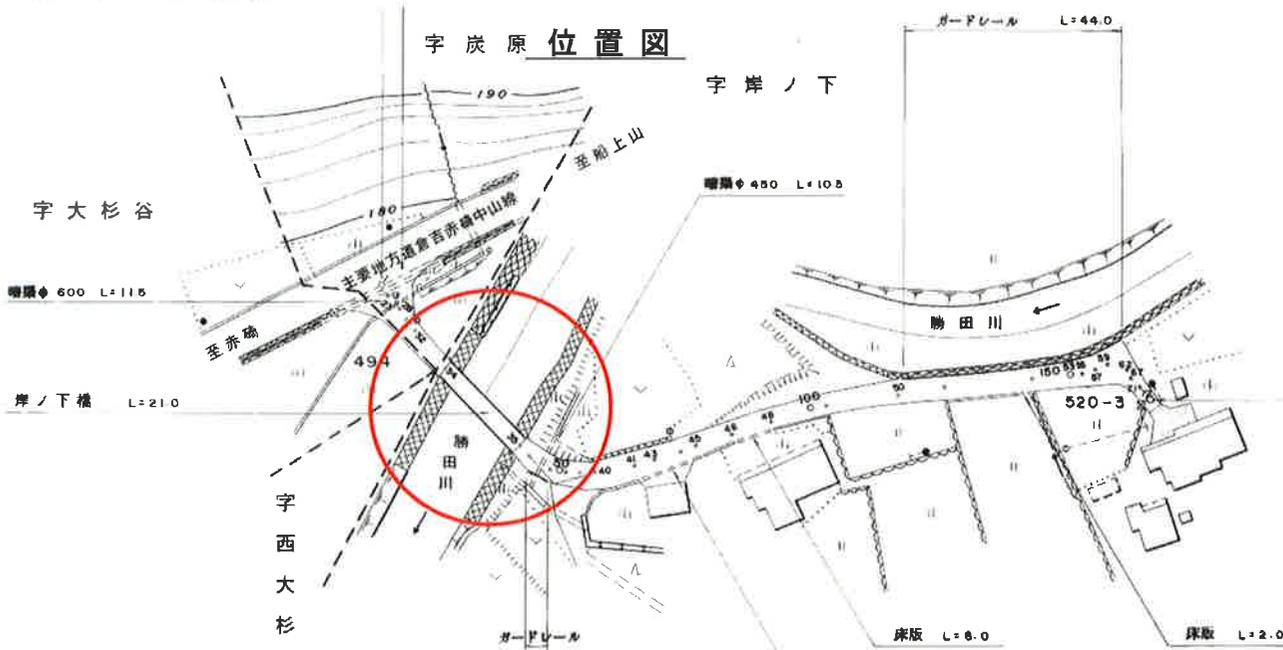
定期点検調書その2 橋りょう一般図 # 1/2

橋りょう番号・名称	キシノシタバシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.25
371810953127-	岸ノ下橋	S52(1977)	21.0m	1	鋼製桁	所在地	大字山川字岸ノ下	岸ノ下線	

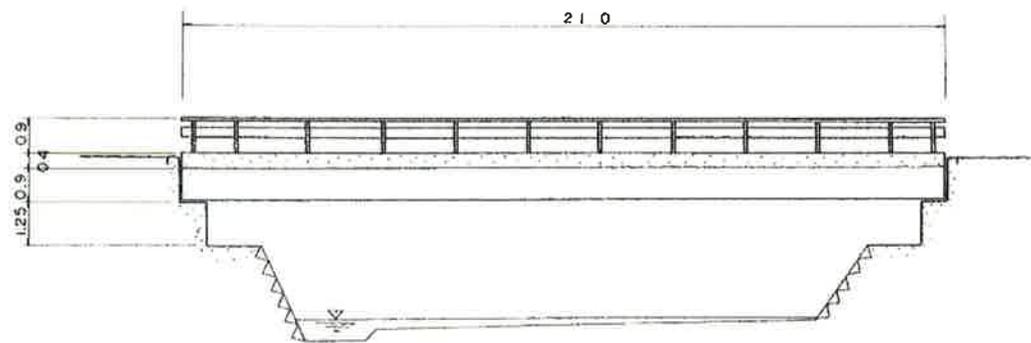
橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

定期点検調査その2
 橋りょう一般図
 # 2/2

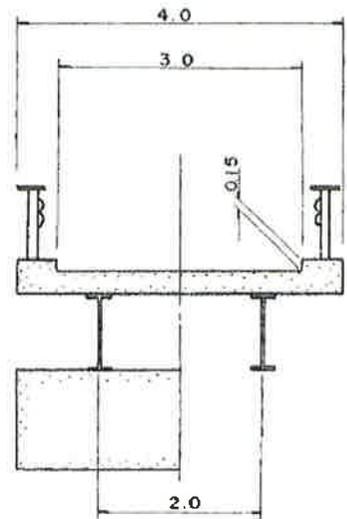


側面図



Non Scale

断面図



橋りょう番号・名称	キシノシタバシ	架設年(西暦) : 橋長 : 径間数 : 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28. 11. 25
371810953127-	岸ノ下橋	S52(1977) 21.0m 1 鋼製桁	所在地	大字山川字岸ノ下	岸ノ下線	

定期点検調書その4
現地状況写真

1/3

起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流



3 下流→上流



橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371810963128-	名称	炭原橋	架設年(西暦)	H5 1993	橋長	21.6m	径間数	1	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.28
名称	炭原橋			H5	1993	21.6m	1	鋼製桁	所在地		大字山川字炭原		路線名	精進川線			
交差区分	3	名称	勝田川	上部工型式	単純鋼桁橋			調書区分		積雪寒冷地	—	備考	(補修履歴等)		詳細調査履歴		
橋りょう全幅員	5.00 m			下部工形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)		床版支間	2.68 m	凍結防止剤散布	—						
自動車交通量	ほとんどない 台/日			A2橋台	RC逆T式橋台(推定)		支承材	鋼製	海岸からの距離	8.8km							
うち大型車交通量	台/日			橋脚			伸縮装置	鋼製	鋼橋塗装系	耐候性							
緊急輸送道路	— 次			基礎形式	不明		高欄種別	鋼製	橋面防水処理	—	緯度		経度				
												35° 26' 24.0"		133° 36' 59.0"			

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位		要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)	健全性評価
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	i	ひびわれ i	ひびわれ、遊離石灰が見られる。変状は局所的なため、経過観察が妥当である。	I
②左側歩道下							
③車道下			i				
④右側歩道下							
⑤右側端張出し			ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii			
主桁 (鋼製)		①左側端耳桁	ii	防食機能の劣化 ii	防食機能の劣化が見られるが機能低下はほとんどないと考えられるため、経過観察が妥当である。	I	
		②左側歩道下					
		③車道下					
		④右側歩道下					
		⑤右側端耳桁	ii	防食機能の劣化 ii			
横桁・縦桁等	⑥	ii	防食機能の劣化 ii				
下部工	橋台	A1 [有筋]	ii	鉄筋露出 ii	鉄筋露出が見られるが局所的なため、経過観察が妥当である。	I	
		A2 [有筋]	i				
	基礎	橋台・橋脚とも		目視困難			
		橋脚 (なし)	P1				
			P2				
			P3				
			P4				
P5							
支承部	支承本体(アンカーボルト)		iii	腐食 iii	表面的な腐食が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
	落橋防止装置(鋼製部) # (Co部)、変位制限装置等						
路上部	舗装		i		伸縮装置の漏水は桁端部、支承の腐食要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。 高欄の防食機能の劣化は、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
	伸縮装置		iii	漏水 iii、土砂詰り iii			
	排水樹・排水管		i				
	点検施設						
	地覆		ii	ひびわれ ii、欠損 ii			
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)		ii	防食機能の劣化 iii、欠損 ii				
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価							II

橋りょう番号・名称	スミバラハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.11.28
371810963128-	炭原橋	H5(1993)	21.6m	1	鋼製桁	所在地	大字山川字炭原	精進川線	

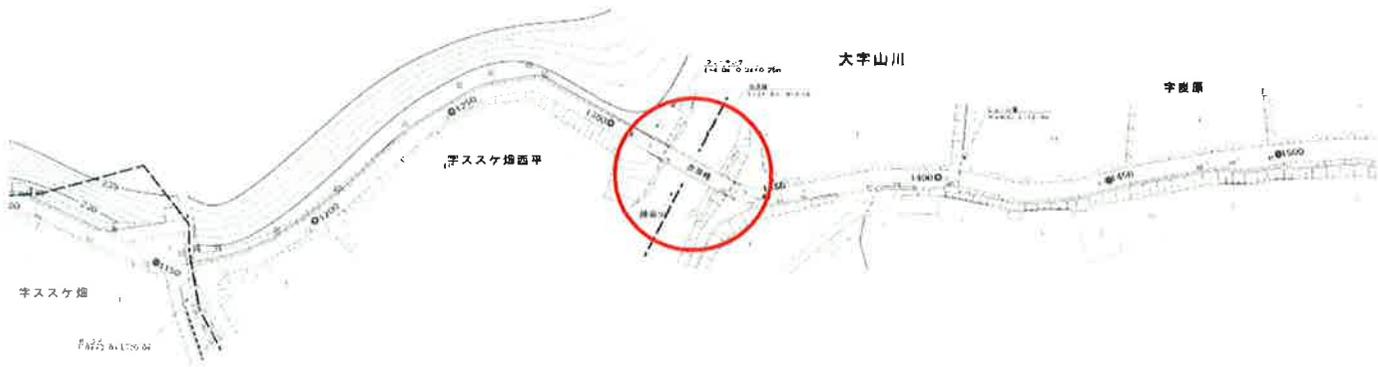
定期点検調書その2 橋りょう一般図 # 2/2

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

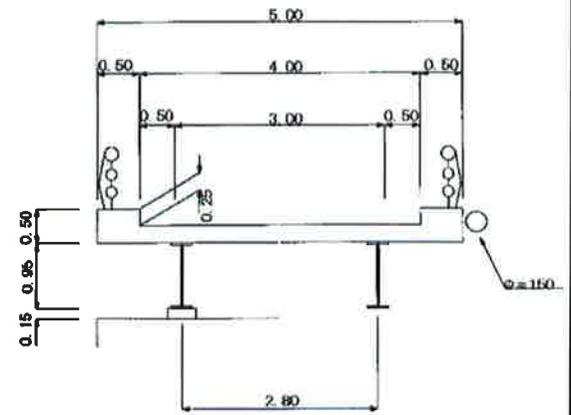
※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

Non Scale

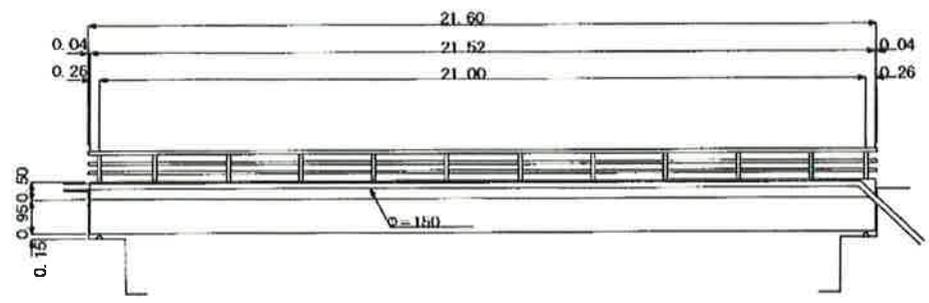
位置図



断面図



側面図



橋りょう番号・名称	スミバラハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28. 11. 28
371810963128-	炭原橋	H5(1993)	21.6m	1	鋼製桁	所在地	大字山川字炭原	精進川線	

定期点検調書その4
現地状況写真

1/4

起点側→終点側



1 終点側→起点側



2

上流→下流



3 下流→上流



4

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	マキドハン	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	点検者	点検日		
371811383131-	名称 牧戸橋	H6 1994	31.4m	1	ホスT桁	琴浦町	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	H28.12.2		
所在地						路線名				
大字籠津字西牧戸						坂ノ上牧戸(1,2号)線				
交差区分 名称	3 黒川	上部工型式	単純ポステンPCT桁橋			調書区分	積雪寒冷地	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴	
橋りょう全幅員	4.70 m	下部工 形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)		床版支間	凍結防止剤散布	-		
自動車交通量	ほとんどない 台/日		A2橋台	RC逆T式橋台(推定)		支承材	海岸からの距離			
うち大型車交通量	台/日	橋脚			伸縮装置	ゴム製	0.2km			
緊急輸送道路	- 次	基礎形式	不明			高欄種別	鋼製	橋面防水処理		
						緯度		経度		
						35° 31' 10.0"		133° 36' 49.0"		

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)	健全性評価
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	i	ひびわれ i	ひびわれが見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。
②左側歩道下						
③車道下			i			
④右側歩道下						
⑤右側端張出し			i			
主桁 (コンクリート)		①左側端耳桁	i	横桁定着部にひびわれ、水のしみ、うきがみられる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I	
	②左側歩道下					
	③車道下					
	④右側歩道下					
	⑤右側端耳桁	i				
横桁・縦桁等	⑥	ii	ひびわれ i、定着部の異常 ii			
下部工	橋台	A1 [有筋]	i	ひびわれ	ひびわれが見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I
		A2 [有筋]	i			
	基礎	橋台・橋脚とも		目視困難		
		橋脚 (なし)	P1			
			P2			
			P3			
P4						
P5						
支承部	支承本体(アンカーボルト)		i		変状は見られない。	I
	落橋防止装置(鋼製部) カ(Co部), 変位制限装置等					
路上部	舗装		iii	路面の凹凸 iii、土砂堆積	伸縮装置に伸縮パッキン、シール材の劣化が見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。高欄に車両接触による塗装損傷が見られ、表面錆が生じている。変状は局部的なため、経過観察が妥当である。	I
	伸縮装置		iii	劣化 iii (伸縮パッキン、シール材)		
	排水溝・排水管		ii	欠損 ii		
	点検施設					
	地覆		ii	欠損 ii		
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)		iii	腐食 ii、防食機能の劣化 iii			
コンクリート高欄(壁式)						
橋りょうの健全性評価						I

橋りょう番号-名称	マキドハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.12.2
371811383131-	牧戸橋	H6(1994)	31.4m	1	ホースト桁	所在地	大字笹津字西牧戸	坂ノ上牧戸(1,2号)線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)

Non Scale



定期点検調書その2
 橋りょう一般図
 # 1/2

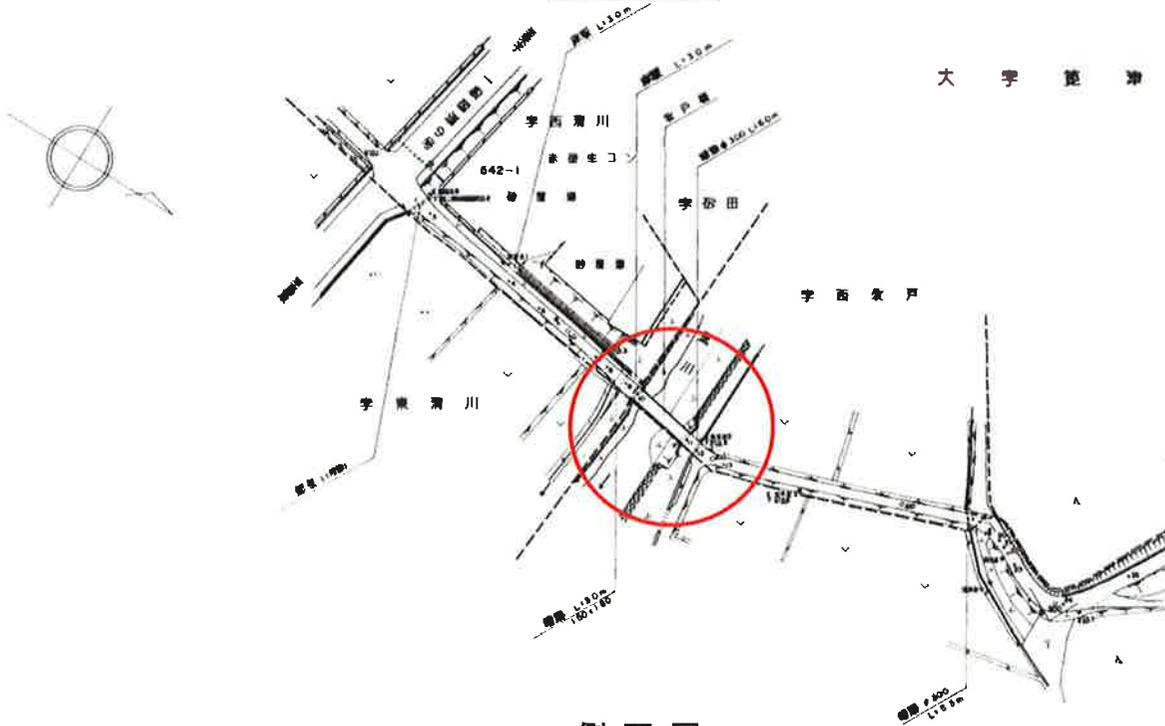
橋りょう番号・名称	マキドハシ 371811383131- 牧戸橋	架設年(西暦) : 橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.12.2
		H6(1994) 31.4m 1 ホースT桁	所在地	大字麓津字西牧戸		坂ノ上牧戸(1,2号)線

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

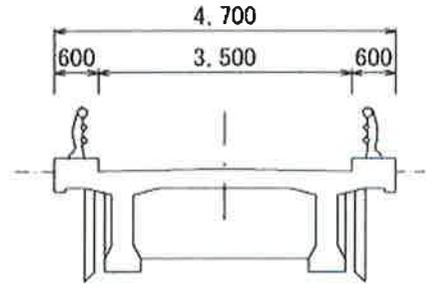
定期点検調査その2
橋りょう一般図
2/2

位置図

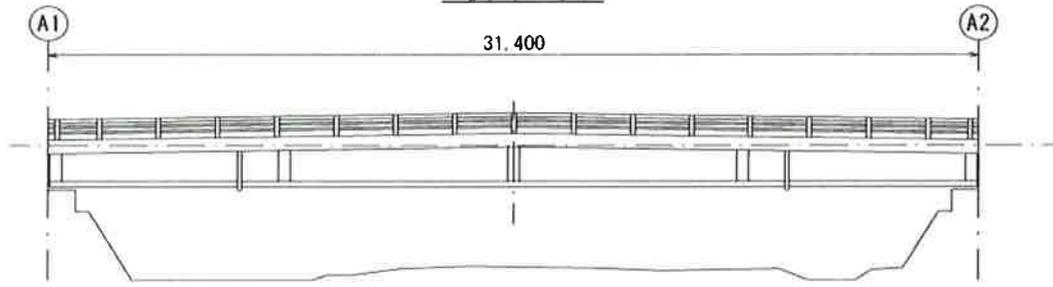


Non Scale

断面図



側面図



橋りょう番号・名称	マキドハシ	架設年(西暦) : 橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28. 12. 2
371811383131-	牧戸橋	H6(1994) 31.4m 1 ホーストン桁	所在地	大字笹津字西牧戸	坂ノ上牧戸(1,2号)線	

定期点検調書その4
現地状況写真

1/3

起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流



起点側
←
A1橋台

終点側
→
A2橋台

3 下流→上流



終点側
←
A2橋台

起点側
→
A1橋台

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371811658134-	名称	ヤマカワキジハン 山川木地橋	架設年(西暦)	S44 1969	橋長	4.5m	径間数	1	桁種	加ハート	事務所名	琴浦町	所在地	大字山川字新田ヶ平	点検者	西谷技術コンサルタント 関 齋藤	点検日	H28.11.29
交差区分	3	名称	精進川	上部工型式	現場打ボックスカルバート			調書区分		積雪寒冷地	—	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴						
橋りょう全幅員	4.40 m		下部工型式	A1橋台	側壁			床版支間		凍結防止剤散布	—								
自動車交通量	少ない 台/日		A2橋台	側壁			支承材		海岸からの距離	9.4km									
うち大型車交通量	— 台/日		橋脚				伸縮装置		鋼橋塗装系	—									
緊急輸送道路	— 次		基礎形式	不明			高欄種別	ガードレール	橋面防水処理	—	緯度	経度							
											35° 25' 59.0"	133° 36' 50.0"							

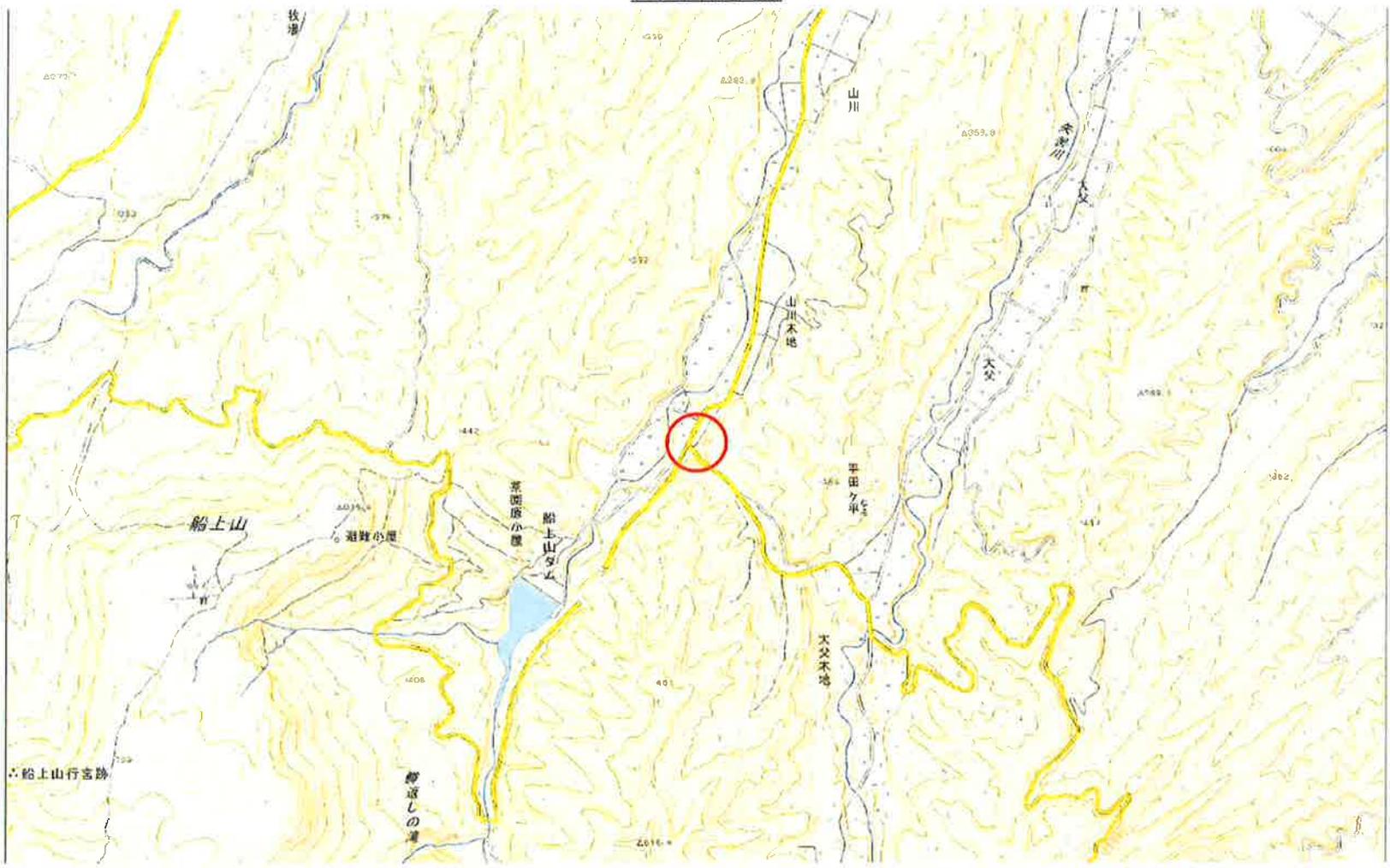
定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)	健全性評価	
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し				
②左側歩道下							
③車道下							
④右側歩道下							
⑤右側端張出し							
主桁		①左側端耳桁					
	②左側歩道下		ii	ひびわれ i、鉄筋露出 ii、遊離石灰 ii	ひびわれ、被り不足による鉄筋露出、遊離石灰が見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I	
	③車道下						
	④右側歩道下						
	⑤右側端耳桁						
横桁・縦桁等	⑥						
下部工	橋台	A1 [有筋]	ii	鉄筋露出 ii、遊離石灰 ii	鉄筋露出、遊離石灰が見られる。変状は局部的なため、経過観察が妥当である。	I	
		A2 [有筋]	ii	遊離石灰 ii			
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難				
	橋脚(なし)	P1					
		P2					
		P3					
P4							
P5							
支承部	支承本体(アンカーボルト)						
	落橋防止装置(鋼製部)						
路上部	リ(Co部), 変位制限装置等						
	舗装		iii	路面の凹凸 iii	高欄のほぼ全面で表面錆が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
	伸縮装置						
	排水柵・排水管						
	点検施設						
	地覆		ii	ひびわれ ii、遊離石灰 ii			
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)		iii	腐食 iii、ボルト脱落 ii				
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価						I	

橋りょう番号・名称	ヤマカワキジハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.11.29
371811658134-	山川木地橋	S44(1969)	4.5m	1	カルバート	所在地	大字山川字新田ヶ平	山川木地部落線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)



Non Scale



定期点検調書その2
 橋りょう一般図
 # 1/2

橋りょう番号・名称	ヤマカワキジハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.29
371811658134-	山川木地橋	S44(1969)	4.5m	1	ガルバート	所在地	大字山川字新田ヶ平	山川木地部落線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

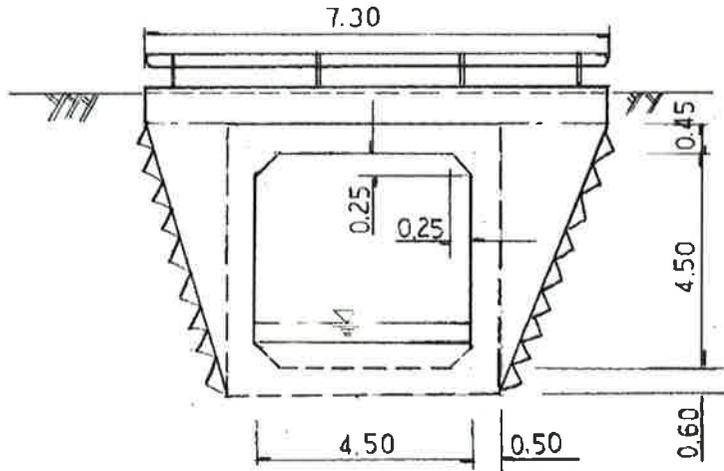
定期点検調書その2
橋りょう一般図

2/2

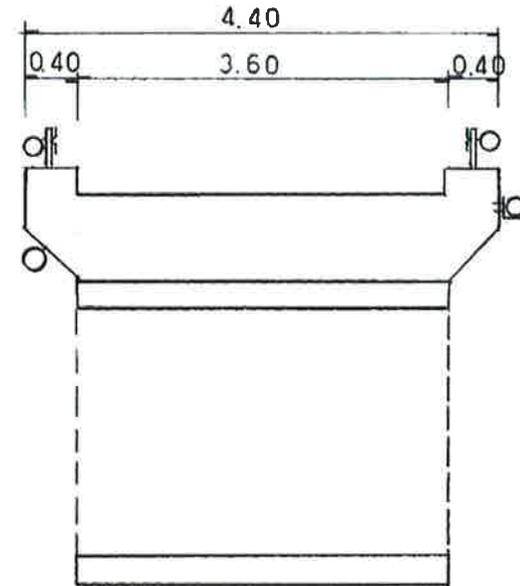
位置図



側面図



断面図



Non Scale

橋りょう番号・名称	ヤマカワキジハン	架設年(西暦) : 橋長 : 径間数 : 桁種 :	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28. 11. 29
371811658134-	山川木地橋	S44 (1969) 4.5m 1 ガバート	所在地	大字山川字新田ヶ平	山川木地部落線	

定期点検調書その4
現地状況写真

1/3

1 起点側→終点側



2 終点側→起点側



3 上流→下流



起点側
←
A1橋台
: 側壁

4 下流→上流



終点側
→
A2橋台
: 側壁

終点側
←
A2橋台
: 側壁

起点側
→
A1橋台
: 側壁

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371811942137-	架設年(西暦)	S54 1979	橋長	34.2m	径間数	1	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.2
名称	安田橋	所在地	大字赤碕字御崎河原			路線名	梅田選果場線								
交差区分名称	3 勝田川	上部工型式	単純合成鋼I桁橋			調書区分		積雪寒冷地	-	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴				
橋りょう全幅員	7.70 m	下部工形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)		床版支間	3.00 m	凍結防止剤散布	-	2012.3 桁塗装					
自動車交通量	少ない 台/日		A2橋台	RC逆T式橋台(推定)		支承材	鋼製	海岸からの距離	0.8km						
うち大型車交通量	台/日	橋脚			伸縮装置	鋼製	鋼橋塗装系	-							
緊急輸送道路	- 次	基礎形式	不明		高欄種別	鋼製	橋面防水処理	-	緯度	経度					
									35° 30' 45.0"	133° 37' 09.0"					

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)	健全性評価
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	i	ひびわれ i	車道下に格子状のひびわれが局部的に見られる。(モニタリング実施) 変状は軽微なため、経過観察が妥当である。
②左側歩道下						
③車道下			i	ひびわれ i		
④右側歩道下						
⑤右側端張出し			i	ひびわれ i		
主桁(鋼製)		①左側端耳桁	ii	防食機能の劣化 iii	防食機能の劣化が見られるが軽微なため、経過観察が妥当である。添接部のボルトにF11Tが使用されており、遅れ破壊が生じる可能性がある。	I
	②左側歩道下					
	③車道下	iii	防食機能の劣化 iii			
	④右側歩道下					
	⑤右側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii			
横桁・縦桁等	⑥	iii	防食機能の劣化 iii			
下部工	橋台	A1 [有筋]	iii	ひびわれ iii	パラペットに幅の大きなひびわれが見られるが局部的で構造上の問題は生じていないと考えられるため、経過観察が妥当である。	I
		A2 [有筋]	iii	ひびわれ iii		
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難			
		P1				
		P2				
		P3				
		P4				
P5						
支承部	支承本体(アンカーボルト)	ii	防食機能の劣化 ii、沓座モルタル割れ	防食機能の劣化、沓座モルタルの割れが見られる。変状は軽微なため、経過観察が妥当である。	I	
	落橋防止装置(鋼製部) // (Co部)、変位制限装置等					
路上部	舗装	iii	段差 iii、ひびわれ i	高欄に横梁溶接部の破断が見られるため、第三者被害防止の観点から早期に措置を講ずるべきである。	III	
	伸縮装置	ii	ゴム材料の変形・欠損			
	排水樹・排水管	iii	土砂詰り iii、腐食 iii			
	点検施設					
	地覆	ii	剥離 ii			
	鋼製高欄・防護柵(ガードレール)	iii	腐食 iii、破断 iii			
コンクリート高欄(壁式)						
橋りょうの健全性評価						I

橋りょう番号・名称	ヤスダハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.11.2
371811942137-	安田橋	S54(1979)	34.2m	1	鋼製桁	所在地	大字赤碓字御崎河原	梅田選果場線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※後述が記載される場合は後述番号をつけること
 ※欄外が図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)

Non Scale



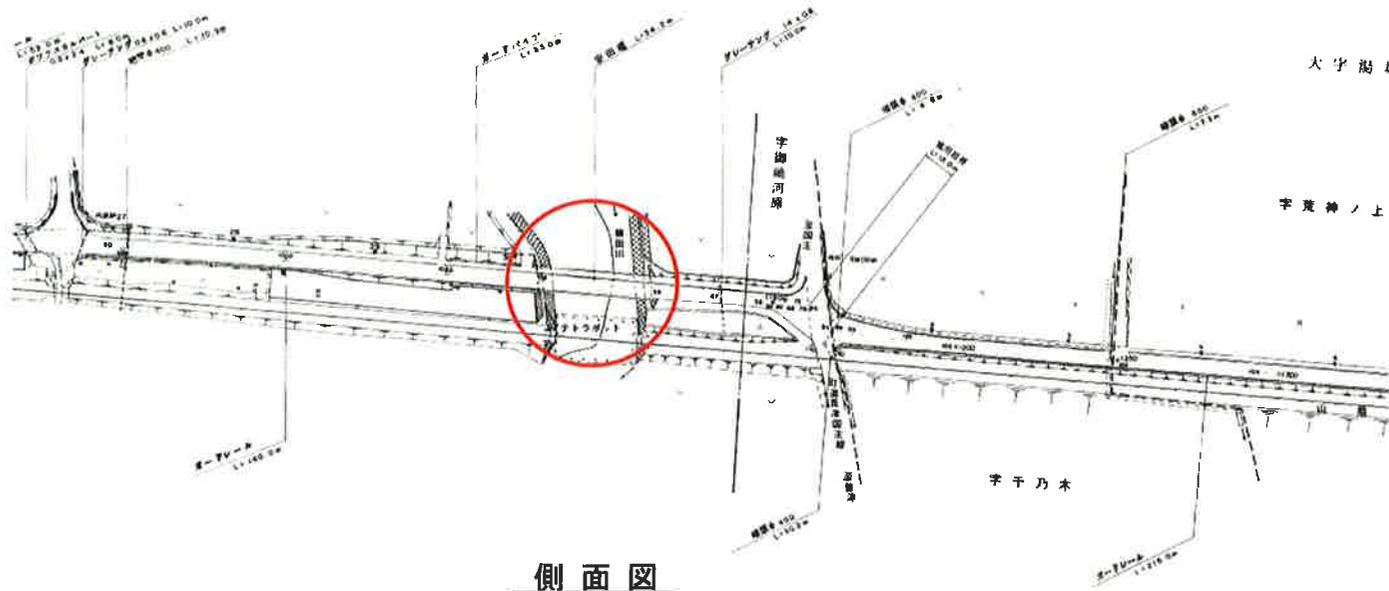
定期点検調書その2 橋りょう一般図 # 1/2

橋りょう番号・名称	ヤスダハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.2
371811942137-	安田橋	S54(1979)	34.2m	1	鋼製桁	所在地	大字赤碓字御崎河原	梅田選果場線	

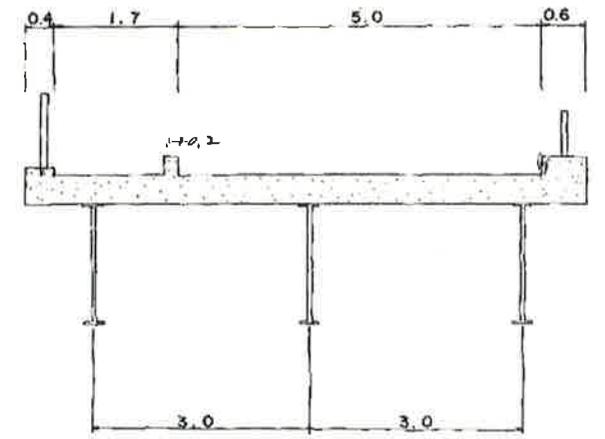
橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

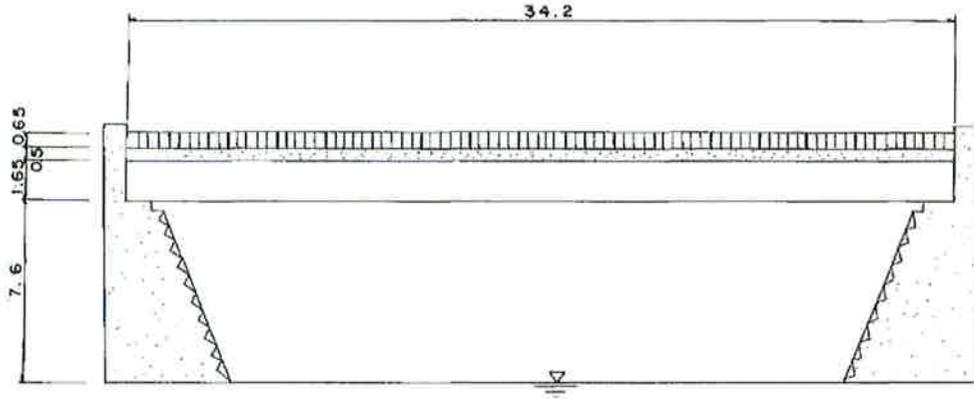
位置図



断面図



側面図



定期点検調書その2
橋りょう一般図

2/2

橋りょう番号・名称	ヤスダハシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日 H28. 11. 2
371811942137-	安田橋	S54 (1979) 34. 2m 1 鋼製桁	所在地	大字赤碓字御崎河原	梅田選果場線

定期点検調書その4
現地状況写真

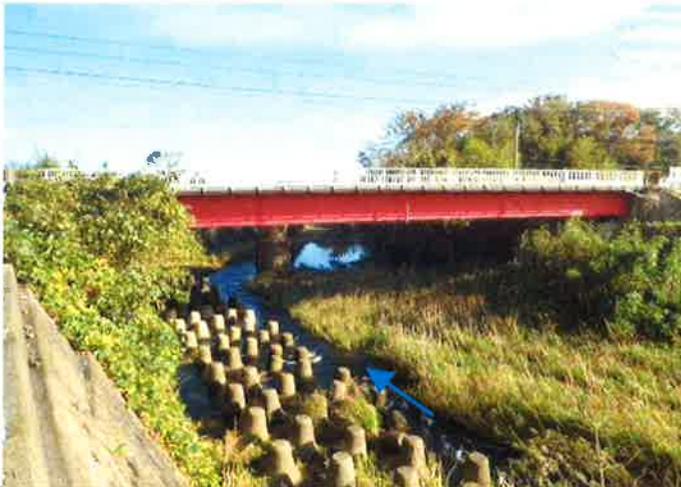
1 起点側→終点側



2 終点側→起点側



3 上流→下流



終点側
←
A2橋台

起点側
→
A1橋台

4 下流→上流



起点側
←
A1橋台

終点側
→
A2橋台

1/4

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371811942139-	架設年(西暦)	S41 1966	橋長	20.8m	径間数	1	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.12.2	
名称	稲荷橋_湯坂	所在地	大字湯坂字西ノ河原	路線名	梅田選果場線											
交差区分名称	3 黒川	上部工型式	単純鋼H桁橋			調書区分	積雪寒冷地		-		備考(補修履歴等)		詳細調査履歴			
橋りょう全幅員	4.70 m	下部工形式	A1橋台	RC半重力式橋台(推定)		床版支間	2.34 m	凍結防止剤散布		-		H21.5 高欄、桁塗装				
自動車交通量	少ない 台/日		A2橋台	RC半重力式橋台(推定)		支承材	鋼製	海岸からの距離		0.7km						
うち大型車交通量	台/日	基礎形式	不明			伸縮装置	不明		鋼橋塗装系		-					
緊急輸送道路	- 次		不明			高欄種別	ガードレール		橋面防水処理		-		緯度		経度	
											35° 30' 58.0"		133° 36' 44.0"			

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)		健全性評価
					総合評価	健全性評価	
上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	iii	鉄筋露出 iii	車道下で漏水、欠損(ジャンカ)が見られる。変状は局部的だが、漏水は床版耐久性の低下要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
		②左側歩道下					
		③車道下	ii	漏水 ii、欠損 ii			
		④右側歩道下					
		⑤右側端張出し	iii	鉄筋露出 iii、浮き iii			
	主桁(鋼製)	①左側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii	防食機能の劣化が見られるが軽微なため、経過観察が妥当である。	I	
②左側歩道下							
③車道下							
④右側歩道下							
⑤右側端耳桁		iii	防食機能の劣化 iii				
横桁・縦桁等	⑥	iii	防食機能の劣化 iii				
下部工	橋台	A1 [有筋]	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii	ひびわれ、遊離石灰、欠損が見られる。変状は局部的なため、経過観察が妥当である。歩車道の隙間から漏水が生じている。	I	
		A2 [有筋]	ii	欠損 ii			
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難				
		P1					
		P2					
		P3					
P4							
支承部	支承本体(アンカーボルト)	ii	防食機能の劣化 ii	防食機能の劣化が見られるが軽微なため、経過観察が妥当である。	I		
	落橋防止装置(鋼製部) # (Co部)、変位制限装置等						
路上部	舗装	i		高欄で防食機能の劣化による表面錆が見られるが軽微なため、経過観察が妥当である。	I		
	伸縮装置	iii	土砂詰り iii				
	排水桝・排水管	ii	防食機能の劣化 ii				
	点検施設						
	地覆	i					
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)	iii	防食機能の劣化 iii					
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価						II	

橋りょう番号・名称	イナリハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.12.2
371811942139-	稲荷橋_湯坂	S41(1966)	20.8m	1	鋼製桁	所在地	大字湯坂字西ノ河原	梅田選果場線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合径間番号をつけること
 ※既存の側面図がない場合は簡略図でよい

位置図(広域)

Non Scale



定期点検調書その2 橋りょう一般図 # 1/2

橋りょう番号・名称	イナリハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.12.2
371811942139-	稲荷橋_湯坂	S41 (1966)	20.8m	1	鋼製桁	所在地	大字湯坂字西ノ河原	梅田選果場線	

定期点検調査その4
現地状況写真

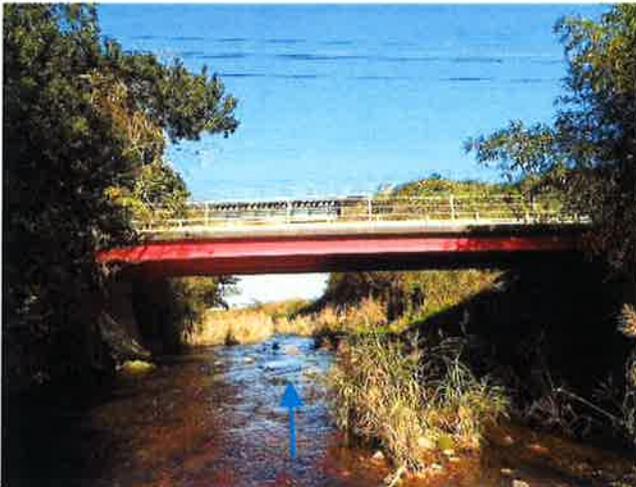
起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流



3 下流→上流



1/3

終点側
←
A2橋台

起点側
→
A1橋台

起点側
←
A1橋台

終点側
→
A2橋台

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371811942139F	名称	イナリハン(ホ) 稲荷橋_湯坂(歩)	架設年(西暦)	S58 1983	橋長	20.8m	径間数	1	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.12.2		
所在地	大字湯坂字西ノ河原			路線名	梅田選果場線														
交差区分名称	3	黒川	上部工型式	単純鋼H桁橋			調書区分		積雪寒冷地	-	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴							
橋りょう全幅員	1.70 m		下部工 形式	A1橋台	RC重力式橋台(推定)			床版支間	1.14 m	凍結防止剤散布	-	H21.5 高欄、桁塗装							
自動車交通量	台/日			A2橋台	RC重力式橋台(推定)			支承材	ベタ	海岸からの距離	0.7km								
うち大型車交通量	台/日		橋脚				伸縮装置	不明	鋼橋塗装系	-									
緊急輸送道路	- 次		基礎形式	不明			高欄種別	ガードレール	橋面防水処理	-			緯度		経度				
													35° 30' 58.0"		133° 36' 44.0"				

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)	健全性評価	
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	i		鉄筋露出が見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I
②左側歩道下			i				
③車道下							
④右側歩道下							
⑤右側端張出し			iii	鉄筋露出 iii			
主桁(鋼製)		①左側端耳桁	iii		防食機能の劣化が見られる。局部的な腐食が生じているため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
	②左側歩道下						
	③車道下						
下部工	横桁・縦桁等	④右側歩道下			A2パラペット天端にひびわれが見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I	
		⑤右側端耳桁	iii	腐食 ii、防食機能の劣化 iii			
	橋台	⑥	iii	防食機能の劣化 iii			
		A1 [有筋]	i				
	基礎	A2 [有筋]	iii	ひびわれ			
		橋台・橋脚とも	目視困難				
橋脚(なし)		P1					
		P2					
	P3						
	P4						
	P5						
支承部	支承本体(アンカーボルト)	P6			アンカーボルトに腐食が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II	
		落橋防止装置(鋼製部) リ(Co部), 変位制限装置等	ii	腐食 ii			
路上部	舗装		i		伸縮装置の漏水は桁端部、支承、下部工などの劣化要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。 地覆で高欄基部が欠損しており、高欄にぐらつきが生じているため、第三者被害防止の観点から早期に措置を講ずるべきである。	III	
		伸縮装置	i	劣化 iii、漏水 iii			
	排水桝・排水管	ii	腐食 iv、土砂詰り iii				
	点検施設						
	地覆	iii	欠損 iii				
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)	iii	防食機能の劣化 iii、変形 iii					
コンクリート高欄(壁式)							
橋りょうの健全性評価						II	

橋りょう番号・名称	イナリハシ(ホ)	架設年(西暦) : 橋長 : 径間数 : 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日 H28. 12. 2
371811942139F	稲荷橋_湯坂(歩)	S58(1983) 20.8m 1 鋼製桁	所在地	大字湯坂字西ノ河原	梅田選果場線

定期点検調書その4
現地状況写真

1/3

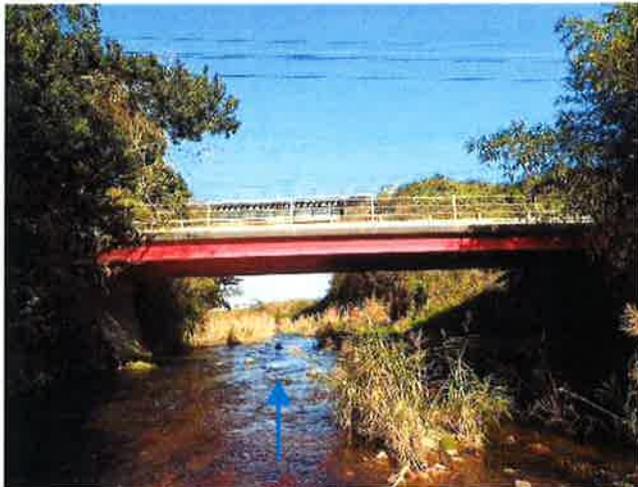
起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流



終点側
←
A2橋台

起点側
→
A1橋台

3 下流→上流



起点側
←
A1橋台

終点側
→
A2橋台

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371812483146-	名称	精進川新道橋	架設年(西暦)	H5 1993	橋長	38.0m	径間数	1 ⁴	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.29
交差区分+名称	3	勝田川	上部工型式	単純鋼合成I桁橋			調書区分数		積雪寒冷地	-	備考(補修履歴等)	詳細調査履歴					
橋りょう全幅員	5.20 m		A1橋台	RC逆T式橋台(推定)			床版支間	3.00 m	凍結防止剤散布	-							
自動車交通量	ほとんどない 台/日		A2橋台	RC逆T式橋台(推定)			支承材	鋼製	海岸からの距離	9.7km							
うち大型車交通量	台/日		橋脚				伸縮装置	ゴム製	鋼橋塗装系	-							
緊急輸送道路	- 次		基礎形式	不明			高欄種別	ガードレール	橋面防水処理	-	緯度	経度					
											35° 25' 51.0"	133° 36' 40.0"					

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位		要素番号	変状度	劣化・損傷内容		総合評価(補修の時期・工法, 緊急対応など)	健全性評価
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	i		遊離石灰が見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I	
②左側歩道下								
③車道下			ii	遊離石灰 ii				
④右側歩道下								
⑤右側端張出し			i					
主桁(鋼製)		①左側端耳桁	ii	防食機能の劣化 ii	桁端部に腐食が見られる。伸縮装置からの漏水が要因であり、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II		
	②左側歩道下							
	③車道下							
	④右側歩道下							
	⑤右側端耳桁	ii	防食機能の劣化 ii、腐食 ii					
横桁・縦桁等	⑥	ii	防食機能の劣化					
下部工	橋台	A1 [有筋]	i		変状は見られない。	I		
		A2 [有筋]	i					
	基礎	橋台・橋脚とも	目視困難					
		P1						
		P2						
		P3						
P4								
P5								
P6								
支承部	支承本体(アンカーボルト)		iii	腐食 iii	表面的な腐食が見られるため、腐食対策の観点から予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II		
	落橋防止装置(鋼製部) " (Co部), 変位制限装置等							
路上部	舗装		i	土砂堆積	伸縮装置の漏水は桁端部、支承、下部工などの劣化要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。 高欄で変形、防食機能の劣化が見られる(一部表面錆が生じている)。変状は局部的で高欄機能に支障は生じていないため、経過観察が妥当である。	II		
	伸縮装置		iii	劣化 iii、漏水 iii				
	排水柵・排水管		i					
	点検施設							
	地覆		ii	ひびわれ ii、欠損 ii				
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)		ii	変形 ii、防食機能の劣化 ii、ボルト脱落 ii					
コンクリート高欄(壁式)								
橋りょうの健全性評価								II

橋りょう番号・名称	ショウジンガワシンミチハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.11.29
371812483146-	精進川新道橋	H5(1993)	38.0m	1	鋼製桁	所在地	大字山川字鳴子谷平	精進川新道線	

定期点検調査その2 橋りょう一般図

2/2

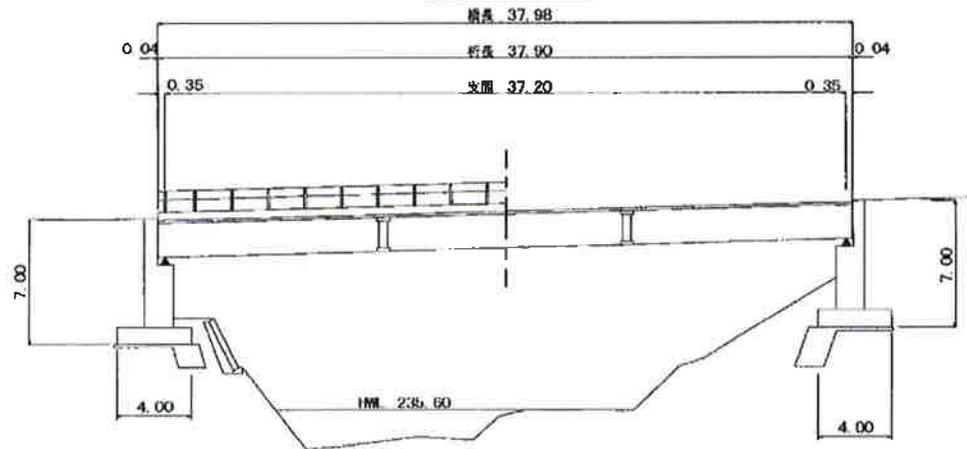
橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
 ※既存の図面等がない場合は概略図でよい

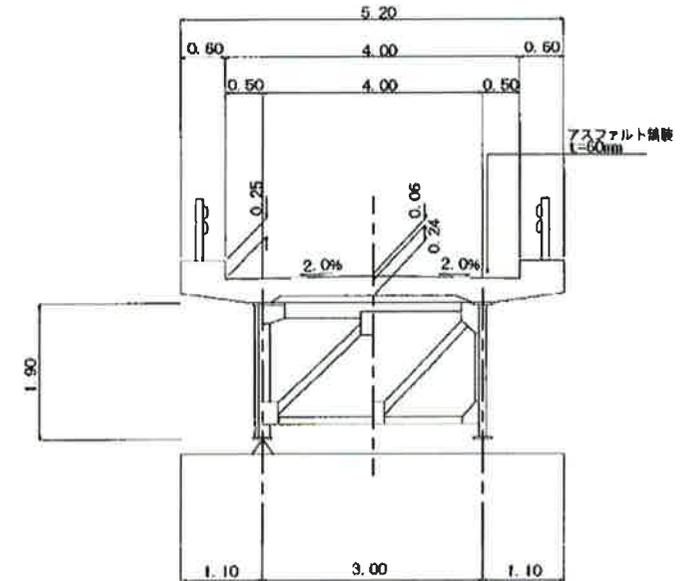
位置図



側面図



断面図



Non Scale

橋りょう番号・名称	ショウジンガワシンミチハン	架設年(西暦) : 橋長 : 径間数 : 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日 H28.11.29
371812483146-	精進川新道橋	H5(1993) 38.0m 1 鋼製桁	所在地	大字山川字鳴子谷平	精進川新道線

定期点検調書その4
現地状況写真

起点側→終点側



1 終点側→起点側



上流→下流

3 下流→上流

1/3

起点側
←
A1橋台



終点側
→
A2橋台

終点側
←
A2橋台



起点側
→
A1橋台

橋りょう定期点検調書その1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号	371812493147-	名称	ススケ畑2号橋	架設年(西暦)	H1 1989	橋長	24.5m	径間数	1	桁種	鋼製桁	事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.4
交差区分	3	勝田川	上部工型式	単純鋼合成H桁橋			調書区分		積雪寒冷地	-	備考(補修履歴等)		詳細調査履歴				
橋りょう全幅員	6.50 m		下部工 形式	A1橋台	RC逆T式橋台(推定)		床版支間	2.25 m	凍結防止剤散布	-							
自動車交通量	ほとんどない 台/日			A2橋台	RC逆T式橋台(推定)		支承材	鋼製	海岸からの距離	9.3km							
うち大型車交通量	台/日		橋脚			伸縮装置	鋼製	鋼橋塗装系	耐候性								
緊急輸送道路	- 次		基礎形式	不明		高欄種別	ガードレール	橋面防水処理	-	緯度		経度					
										35° 26' 03.0"		133° 36' 49.0"					

定期点検調書その1 総合点検結果	劣化・損傷部位	要素番号	変状度	劣化・損傷内容	総合評価(補修の時期・工法、緊急対応など)	健全性評価			
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii	ひびわれは舗装ひびわれとほぼ同位置に見られ、そこに遊離石灰(水しみ)が生じている。現時点で床版耐荷性能の低下は生じていないが、橋面水の影響があると考えられるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II		
②左側歩道下									
③車道下			iv	床版ひびわれ iv、遊離石灰 ii					
主桁(鋼製)		④右側歩道下				防食機能の劣化が見られる。一部で層状錆の剥離が生じているため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II		
		⑤右側端張出し	ii	ひびわれ i、遊離石灰 ii					
		①左側端耳桁	ii	防食機能の劣化 ii					
横桁・縦桁等	②左側歩道下				防食機能の劣化 ii	I			
	③車道下	ii	防食機能の劣化 ii						
	④右側歩道下								
下部工	橋台	⑤右側端耳桁	iii	防食機能の劣化 iii	ひびわれが見られるが局部的なため、経過観察が妥当である。	I			
		⑥	i	ひびわれ i					
	基礎	A1 [有筋]	i	ひびわれ i			目視困難		
		A2 [有筋]	i						
	橋脚(なし)	P1							
		P2							
P3									
P4									
支承部	支承本体(アンカーボルト)		iii	防食機能の劣化 ii、土砂詰り iii	支承材は耐候性鋼材である。層状剥離などは見られないため、経過観察が妥当である。	I			
	落橋防止装置(鋼製部)								
路上部	舗装		iii	ひびわれ iii	橋面水浸透による床版への影響が懸念される。伸縮装置の漏水は桁端部、支承、下部工などの劣化要因となるため、予防保全的措置を講ずることが望ましい。	II			
	伸縮装置		iii	漏水 iii、土砂詰り iii					
	排水桝・排水管		iv	腐食 iv、土砂詰り iii					
	点検施設								
	地覆		iii	ひびわれ iii					
鋼製高欄・防護柵(ガードレール)			ii	ボルトのゆるみ ii、防食機能の劣化 ii					
	コンクリート高欄(壁式)								
橋りょうの健全性評価						II			

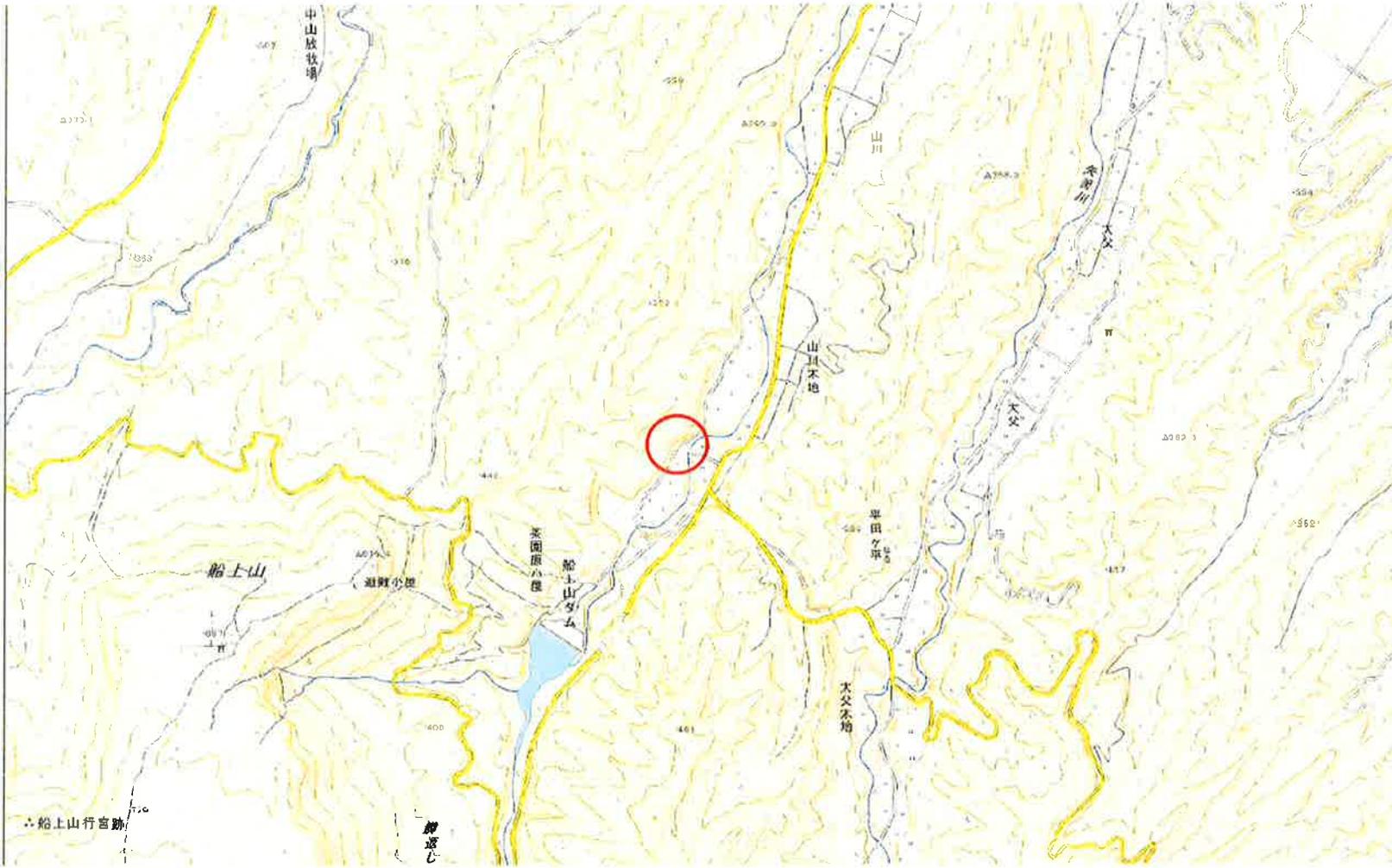
橋りょう番号・名称	ススケハタ2ゴウハシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日	H28.11.4
371812493147-	ススケ畑2号橋	H1(1989)	24.5m	1	鋼製桁	所在地	大字山川字精進川	ススケ畑支線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の断面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)

Non Scale



定期点検調書その2
橋りょう一般図
1/2

橋りょう番号・名称	ススケ畑2ゴウハシ	架設年(西暦)	橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	点検日	H28.11.4
371812493147-	ススケ畑2号橋	H1(1989)	24.5m 1 鋼製桁	所在地	大字山川字精進川	ススケ畑支線	

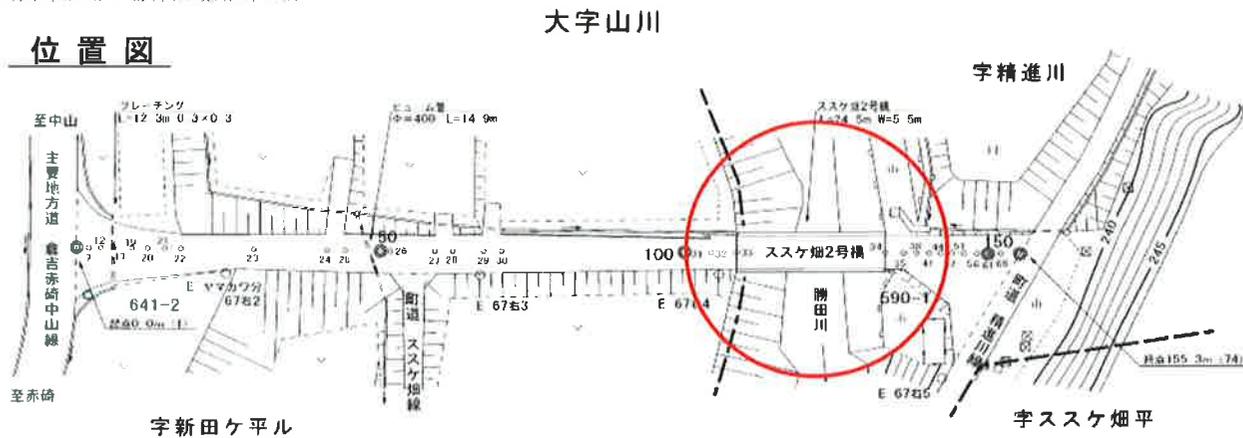
橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※図面が複数ある場合は添付番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

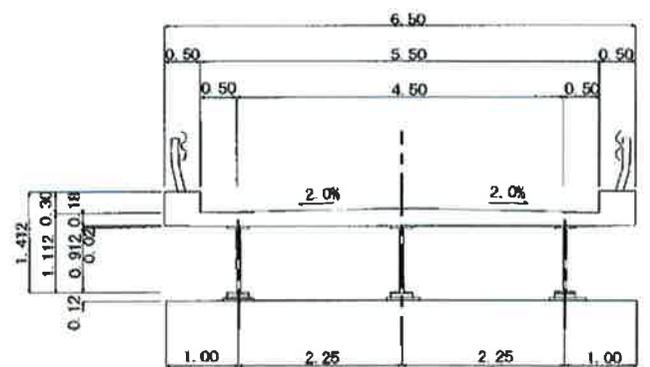
定期点検調書その2
橋りょう一般図

2/2

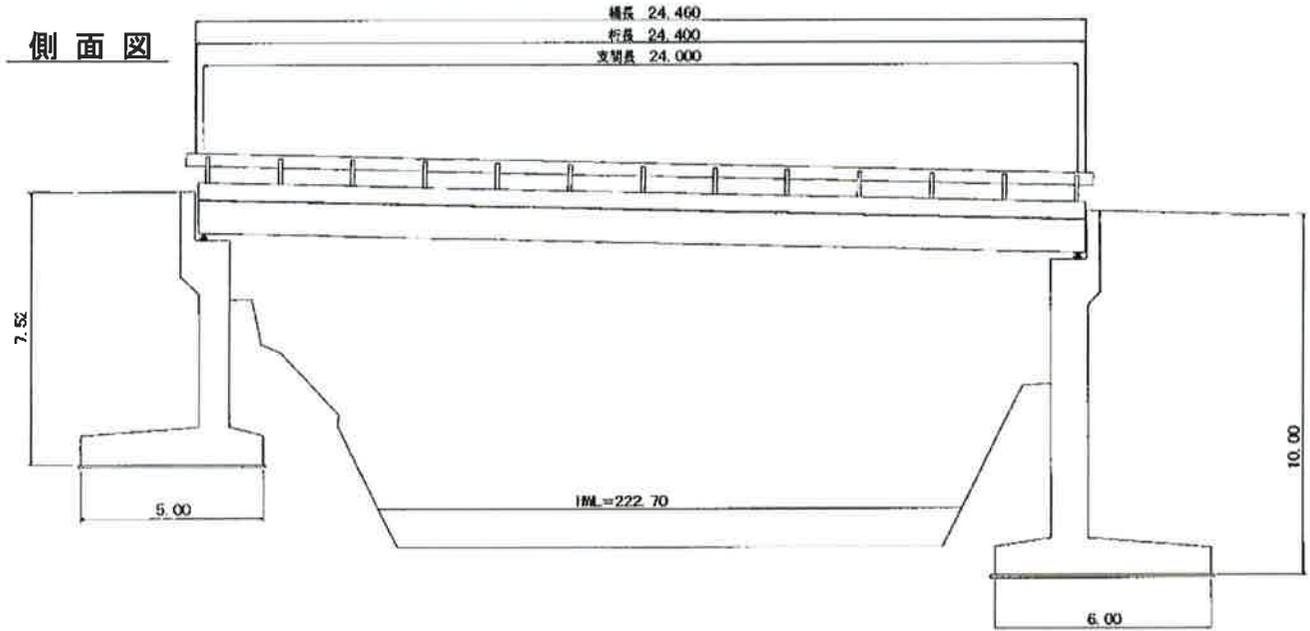
位置図



断面図
Non Scale



側面図



橋りょう番号・名称	ススケハタ2ゴウハシ	架設年(西暦)：橋長：径間数：桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤	■点検日 H28.11.4
371812493147-	ススケ畑2号橋	H1(1989) 24.5m 1 鋼製桁	所在地	大字山川字精進川	ススケ畑支線

定期点検調書その4
現地状況写真

1/3

起点側→終点側 1



終点側→起点側 2



上流→下流 3



終点側
←
A2橋台

起点側
→
A1橋台

下流→上流 4



起点側
←
A1橋台

終点側
→
A2橋台